

社会福祉法人 渋谷区社会福祉事業団

令和6年度 事業報告書

目 次

令和6年度 渋谷区社会福祉事業団 事業報告	1
渋谷区社会福祉事業団本部事務局の事業報告	6
渋谷区あやめの苑・代々木の事業報告	9
渋谷区美竹の丘・しぶやの事業報告	21
母子生活支援施設の事業報告	31
渋谷区生活実習所つばさの事業報告	39
渋谷区立幡ヶ谷授産場の事業報告	46
渋谷区立新橋作業所の事業報告	50
認定こども園・保育園の事業報告	53
地域包括支援センターの事業報告	70

令和6年度 渋谷区社会福祉事業団 事業報告

現在、渋谷区の高齢化率は約19%で、近年横ばいで推移しているが、後期高齢者数は増加している。一方で、0歳児から5歳児の人口減少傾向は続いている。

令和6年度においては、特養から障がい者施設、こども園・保育園まで、幅広い層の区民を対象とした施設を運営する当事業団は、新型コロナウイルスを含めた様々な感染症の予防に努めるとともに、これまで実施できなかったイベントなどを復活させ、利用者の方がより満足のいただけるような環境を提供できるように努めてきた。

今後人員確保がさらに困難と予測され、働き方改革が求められる状況の中で、より良いサービスの提供を継続するために、生産性向上に繋がるDX（デジタルトランスフォーメーション）の活用として、「勤怠、人事労務、ワークフローシステム」の導入準備や「ショートステイ管理システム」導入のための実証実験を実施した。

また、第三者の目から見た評価結果を幅広く利用者や事業者に情報提供することにより、サービスの内容を利用者に見えるものにするため、新たに特養において、福祉サービス第三者評価を実施した。

ケアコミュニティ・原宿の丘地域包括支援センターについては、ケアコミュニティ・原宿の丘の建て替えにより、令和7年3月に障害者福祉センターはあとぴあ原宿に移転し、名称を「障害者福祉センターはあとぴあ原宿地域包括支援センター」として、これまでどおり地域に根差した相談窓口として安定的に運営している。

令和6年度に実施した事業の概要は、次のとおりである。

1 人材の確保と育成

(1) 職員の採用活動の強化

職員の採用及び育成を担当する部門と事業部門とが協力して職員の不足状況を的確に把握した上で、アクセスの多いハローワークとの連携や各種の募集ウェブサイトの掲載方法を工夫するなど共に、事業団のホームページの採用欄を随時更新し、応募者にアピールすることで、人材の確保に努めた。

(2) 介護職員等の処遇改善

介護職員処遇改善加算・介護職員等特定処遇改善加算・介護職員等ベースアップ等支援加算の各制度を活用し、職員の処遇改善を行った。

(3) 職員宿舍借上げ事業

認定こども園、保育園では、引き続き渋谷区の保育従事職員借上げ事業を活用し、令和6年度は、48人の職員が利用した。

また、あやめの苑・代々木及び美竹の丘・しぶやの介護士2名が、渋谷区の介護

職員宿舍借り上げ支援事業を初めて利用した。

(4) 職員の育成

主任ケアマネジャーの資格更新研修の受講費の補助をすることや、東社協や区などが実施する各種の研修に該当する職員を参加させた。

また、認定こども園・保育園で視察として、令和7年2月、応答的保育に先駆的な取り組みをしている福岡県の保育園を訪問した。

2 施設及び事業の管理運営

施設及び事業の管理運営に当たっては、当事業団設立当初の「事業団設立趣意書」に基づき、次の基本方針を踏まえた事業執行を行い、区民福祉の増進を図った。

[基本方針]

- 1 利用者の人格、個性を尊重し、利用者のより快適な生活実現のためのサービス提供を行う。
- 2 地域に根差し、地域に親しまれる開かれた施設づくりを目指す。
- 3 社会の変化や区民の要請に的確に対応できる柔軟な組織や運営体制の確立を図る。

[施設及び事業]

1 渋谷区社会福祉事業団本部事務局の運営

- (1) 本部事務局
- (2) こども未来課

2 「渋谷区あやめの苑・代々木」の管理運営

- (1) 特別養護老人ホーム事業
- (2) 高齢者在宅サービスセンター事業

ア ショートステイ事業

イ デイサービス事業

ウ 介護者教室事業

3 「渋谷区美竹の丘・しぶや」の管理運営

- (1) 特別養護老人ホーム事業
- (2) ショートステイ事業

4 母子生活支援施設の管理運営

5 障害福祉サービス事業所（生活介護）「渋谷区生活実習所つばさ」の管理運営

6 授産施設「渋谷区立幡ヶ谷授産場」の管理運営

7 障害福祉サービス事業所（就労継続支援B型）「渋谷区立幡ヶ谷のぞみ作業所」の管理運営

- 8 「渋谷区立新橋作業所」の管理運営
 - (1) 障害福祉サービス事業所（就労継続支援B型）
 - (2) 物品受託加工事業
- 9 認定こども園「神宮前あおぞらこども園」の管理運営
- 10 認定こども園「本町きらきらこども園」の管理運営
- 11 認定こども園「恵比寿のびのびこども園」の管理運営
- 12 認定こども園「本町そよかぜこども園」の管理運営
- 13 認定こども園「原宿こども園」の管理運営
- 14 「西原保育園ゆめ」の管理運営
- 15 地域包括支援センターの管理運営
 - (1) 「渋谷区豊沢・新橋地域包括支援センター」の管理運営
 - (2) 「渋谷区恵比寿西二丁目地域包括支援センター」の管理運営
 - (3) 「渋谷区ひがし健康プラザ地域包括支援センター」の管理運営
 - (4) 「渋谷区かんなみの杜・渋谷地域包括支援センター」の管理運営
 - (5) 「渋谷区富ヶ谷・上原地域包括支援センター」の管理運営
 - (6) 「渋谷区総合ケアコミュニティ・せせらぎ地域包括支援センター」の管理運営
 - (7) 「渋谷区あやめの苑・代々木地域包括支援センター」の管理運営
 - (8) 「渋谷区つばめの里・本町東地域包括支援センター」の管理運営
 - (9) 「渋谷区笹幡地域包括支援センター」の管理運営
 - (10) 「渋谷区千駄ヶ谷・北参道地域包括支援センター」の管理運営
 - (11) 「渋谷区障害者福祉センターはあとびあ原宿地域包括支援センター」（移転前：ケアコミュニティ・原宿の丘地域包括支援センター）の管理運営

◇ 事業団の職員配置（令和7年3月31日現在）

	事務局長	部長	課長	事務	介護支援 専門員	介護士	理学 療法士
正規職員	1人	2人	19人	19人	54人	93人	2人
（増減）	－	－	▲3人	－	▲1人	＋6人	－
非正規職員	－	－	－	5人	4人	34人	－
（増減）	－	－	－	－	▲2人	▲9人	－
	作業 療法士	保健師・ 看護師	栄養士	調理	母子 支援員	少年 指導員	生活 支援員
正規職員	2人	35人	2人	4人	3人	1人	8人
（増減）	－	▲1人	－	－	－	－	▲1人
非正規職員	－	7人	1人	2人	－	－	8人
（増減）	－	＋3人	－	－	－	－	－
	職業 指導員	施設管理	保育士	用務	心理療法 担当職員	合 計	
正規職員	7人	－	133人	－	－	385人	
（増減）	＋2人	▲1人	＋5人	－	－	＋6人	
非正規職員	6人	－	39人	6人	－	112人	
（増減）	▲1人	▲2人	＋1人	－	－	▲10人	
（増減）					総合計	497人	
＋：増加 ▲：減少 －：増減なし					（増減）	▲4人	

※ 部長は、こども未来部長、あやめの苑・代々木施設長

※ 課長は、本部事務局総務課長、人事課長、保育支援担当課長、あやめの苑・代々木参与、総務課長、事業課長、美竹の丘・しぶや施設長、総務課長、事業課長、母子生活支援施設施設長、生活実習所つばさ施設長、幡ヶ谷授産場施設長（幡ヶ谷のぞみ作業所施設長兼務）、神宮前あおぞらこども園園長、本町きらきらこども園園長、恵比寿のびのびこども園園長、本町そよかぜこども園園長、原宿こども園園長、西原保育園ゆめ園長、地域包括ケア担当課長

※ 正規職員は、給与規程の適用を受ける職員（特定職員、再任用職員、渋谷区からの派遣職員を含む。ただし、週40時間未満の職員は除く）（以下、同じ。）

※ 非正規職員には、再任用職員（週40時間未満勤務）、準職員、非常勤職員及び臨時職員を含む。（以下、同じ。）

※ 上記のほか短時間勤務臨時職員あり（事務・介護支援専門員・介護士・看護師・栄養士・調理・少年指導員・生活支援員・職業指導員・保育士・心理療法士）

◇ 事業団の各施設の定員（令和7年3月31日現在）

施設名	事業種類	定員数
あやめの苑・代々木	特別養護老人ホーム	70人
	ショートステイ	10人
	デイサービス（総合事業含む）	33人
美竹の丘・しぶや	特別養護老人ホーム	127人
	ショートステイ	28人
母子生活支援施設	母子生活支援施設	16世帯（52人）
生活実習所つばさ	障害福祉サービス事業所（生活介護）	20人
幡ヶ谷授産場	授産施設	30人
幡ヶ谷のぞみ作業所	障害福祉サービス事業所（就労継続支援B型）	20人
新橋作業所	障害福祉サービス事業所（就労継続支援B型）	25人
	物品受託加工事業	10人
神宮前あおぞらこども園	認定こども園	115人
本町きらきらこども園	認定こども園	123人
恵比寿のびのびこども園	認定こども園	118人
本町そよかぜこども園	認定こども園	121人
原宿こども園	認定こども園	53人
西原保育園ゆめ	保育園	106人

渋谷区社会福祉事業団本部事務局の事業報告

I 本部事務局

1 理事会、評議員会及び評議員選任・解任委員会

次のとおり、理事会、評議員会及び評議員選任・解任委員会を開催した。

(1) 理事会の開催状況（令和6年4月1日～令和7年3月31日）

	開催日	議 題	備 考
第120回	令和6年 5月28日	(報告事項) 1 職務執行状況について 2 令和5年度 会計監査人監査報告 3 令和5年度 監事監査報告 4 社会福祉充実計画について (議案) 1 令和5年度 事業報告 2 令和5年度前期末支払資金残高の一部取崩 3 令和5年度 決算 4 会計監査契約の更新 5 役員等賠償責任保険契約について 6 定時評議員会の招集	原案どおり決定 〃 〃 〃 〃 〃
第121回	令和6年 8月27日	【決議の省略】 (議案) 1 理事の推薦 2 評議員選任候補者の推薦	原案どおり決定 〃
第122回	令和7年 3月12日	【決議の省略】 (議案) 1 組織及び事務分掌規程の一部改正 2 評議員会の招集	原案どおり決定 〃
第123回	令和7年 3月26日	(報告事項) 1 職務執行状況について (議案) 1 理事の推薦 2 施設の長の選任 3 評議員選任・解任委員の選任 4 令和6年度 補正予算 5 令和7年度 事業計画 6 令和7年度 予算	原案どおり決定 〃 〃 〃 〃 〃

(2) 評議員会の開催状況（令和6年4月1日～令和7年3月31日）

	開催日	議 題	備 考
第73回	令和6年 6月19日	(議案) 1 会計監査人の選任 2 令和5年度 事業報告 3 令和5年度 決算 (報告事項) 1 令和5年度 会計監査人監査報告 2 令和5年度 監事監査報告 3 社会福祉充実計画について	原案どおり決定 〃 〃
第74回	令和6年 9月12日	【決議の省略】 (議案) 1 理事の選任	原案どおり決定
第75回	令和7年 3月26日	(報告) 1 地域包括支援センターの移転について (議案) 1 理事の選任 2 令和7年度 事業計画 3 令和7年度 予算	原案どおり決定 〃 〃

(3) 評議員選任・解任委員会の開催状況（令和6年4月1日～令和7年3月31日）

	開催日	議 題	備 考
第10回	令和6年 9月12日	【決議の省略】 (議案) 1 評議員の選任	原案どおり決定

2 予算・決算等の調整及び予算の執行統制

3 職員の人事管理・福利厚生・研修

- (1) 職員の人事管理・給与管理を行った。
- (2) 職員の健康管理のための健康診断を行った。
- (3) 職員の福利厚生のための共済会等の加入事務を行った。
- (4) 職員研修の受講の調整、啓発を行った。

4 渋谷区及び各施設との連絡調整

本部事務局は、各施設と業務委託者である渋谷区との連絡調整の役目を担い、施設や事業の目的を明確にし、各施設がより効果的な事業運営ができるよう側面から援助を行った。

5 こども園及び保育園に関する経営管理

こども未来課が各こども園・保育園を統括し、円滑なこども園・保育園運営の支援を行った。

6 本部事務局（総務課・人事課・こども未来課）の職員配置

（令和7年3月31日現在）

	事務局長	部長	課長	事務	合計
正規職員	1人	1人	3人	9人	14人

※ 部長は、こども未来部長（事務1人）

※ 課長は、総務課長（事務1人）、人事課長（事務1人）、保育支援担当課長（保育士1人）

※ 上記のほかに短時間勤務職員あり（事務）

7 本部事務局の勤務体制

職員の勤務時間は、午前8時30分から午後5時15分までである。

渋谷区あやめの苑・代々木の事業報告

渋谷区あやめの苑・代々木は、特別養護老人ホームと高齢者在宅サービスセンターが併設された地域の高齢者施設である。

特養及びショートステイ事業では、定員80床を5グループに分け、1グループ16人として、顔馴染みの職員で安心した環境で快適に生活できるように努めている。

令和6年度も新型コロナウイルスの影響を受け、6月から7月にかけてクラスターが発生したが、保健所と連携しながら対応することで収束させることができた。

今年度は、それまで自粛していた面会やイベント、ボランティアなども徐々に再開した。余暇活動としての行事やイベントは入居者にとって生活の楽しみとなり、ボランティアの方との交流も楽しんでいた。

また、今後のより良い施設運営に資する情報を得るため、福祉サービス第三者評価を実施した。

今年度、渋谷区から受託した事業は、次のとおりである。

- ◆ 特別養護老人ホーム事業
- ◆ 高齢者在宅サービスセンター事業
 - ・ショートステイ事業
 - ・デイサービス事業

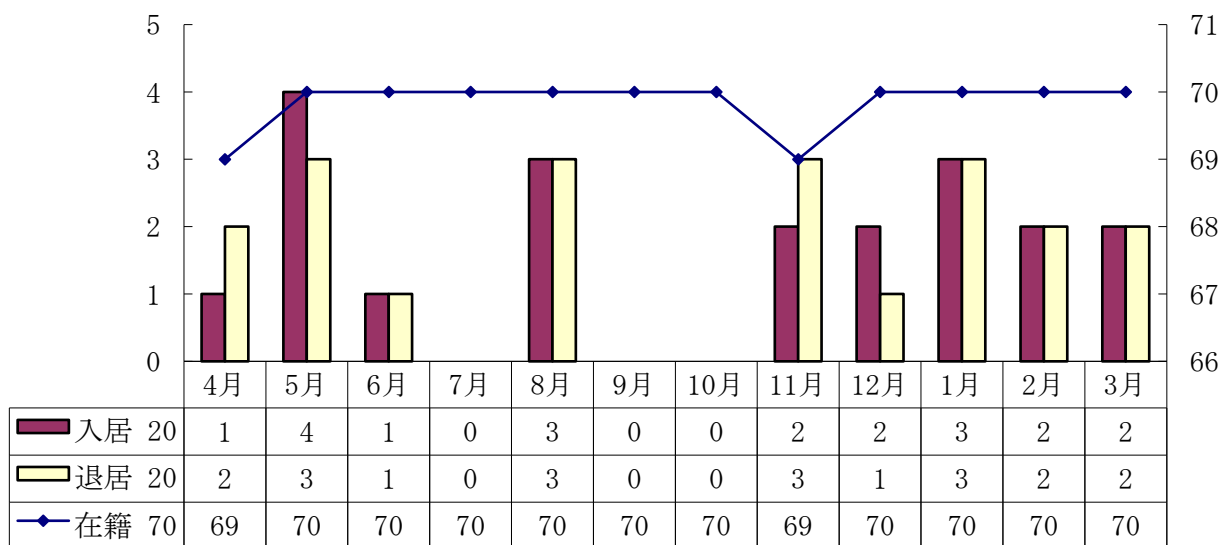
それぞれの事業の運営状況は以下のとおりである。

1 施設の利用状況

(1) 特別養護老人ホーム事業（定員70人）

ア 入退居の状況

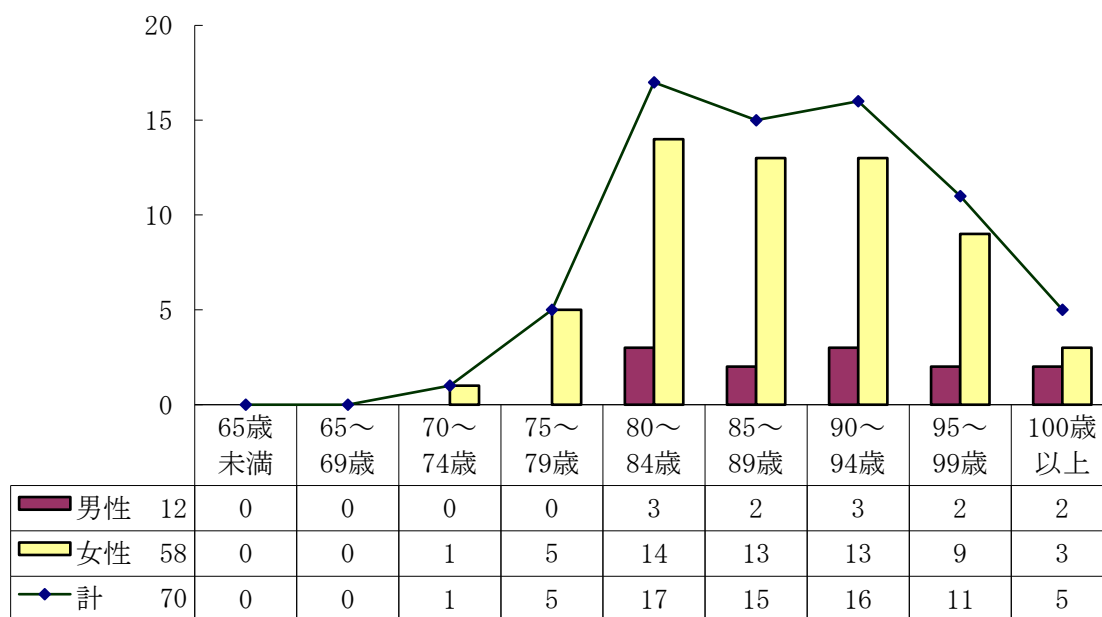
(単位：人)



※ 平均利用率 97.35% (97.75%) () 内は前年度

イ 入居者の年齢・性別 (令和7年3月31日現在)

(単位：人)

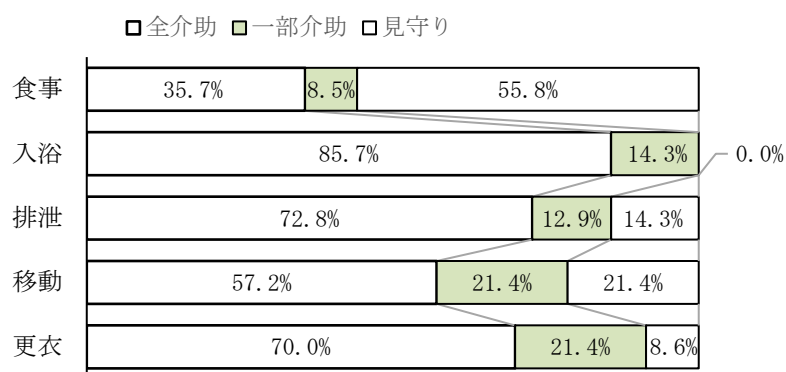


※ 平均年齢 全体 88.6 歳 (88.0 歳) 男性 90.4 歳 (85.8 歳) 女性 88.2 歳 (88.8 歳)

※ 最高齢者 男性 101 歳 (100 歳) 女性 106 歳 (105 歳) () 内は前年度

ウ 入居者の介助状況（令和7年3月31日現在）

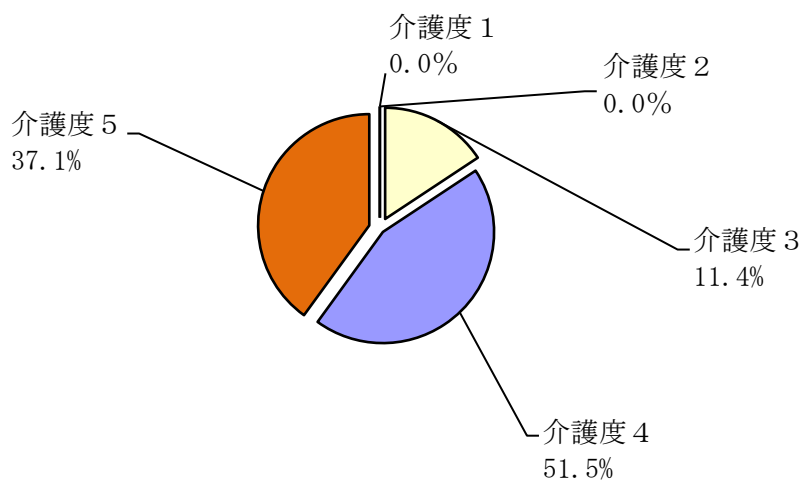
	全介助	一部介助	見守り
食 事	25人	6人	39人
入 浴	60人	10人	0人
排 泄	51人	9人	10人
移 動	40人	15人	15人
更 衣	49人	15人	6人



エ 入居者の要介護度（令和7年3月31日現在）

要介護度	介護度1	介護度2	介護度3	介護度4	介護度5	計
入居者数	0人	0人	8人	36人	26人	70人
	0.0%	0.0%	11.4%	51.5%	37.1%	100.0%

※ 平均介護度 4.3 度（4.2 度） （ ）内は前年度



オ 入居者の疾病状況（重複計上）

疾患群	病 名	人数
脳血管系疾患	多発性ラクナ梗塞、多発性脳血管障害、脳梗塞後遺症、脳出血後遺症、多発性脳梗塞、パーキンソン病、脳梗塞、陳旧性ラクナ梗塞、クモ膜下出血、外傷性クモ膜下出血、髄膜種、アテローム血栓脳梗塞、脳血管障害、後被殻出血、高次機能障害	23人
悪性新生物	乳癌、胃癌、大腸癌、肺癌、膀胱癌、前立腺癌、悪性軟部腫瘍、脳腫瘍、脾臓癌疑い、多発血管炎性肉芽腫症	13人
精神神経系疾患	認知症、アルツハイマー型認知症、血管性認知症、前頭側頭型認知症、レビー小体型認知症、うつ病、てんかん、症候性てんかん、統合失調症、双極性障害、不眠症	49人
循環器系疾患	高血圧、慢性心不全、狭心症、心房細動、陳旧性心筋梗塞、大動脈弁狭窄症、僧帽弁狭窄症、頸動脈硬化症、動脈硬化症、下肢静脈瘤、下肢静脈血栓症、横紋筋融解症、心不全、頻脈型心房細動、僧帽弁逆流症、大動脈弁狭窄閉鎖不全、心肥大	60人
呼吸器系疾患	肺Mac、気管支喘息、慢性気管支炎、慢性閉塞性肺疾患、陳旧性肺結核、気管支拡張症、胸水、非結核性抗酸菌症	10人
内分泌系疾患	糖尿病、高血糖症、高脂血症、脂質異常症、高コレステロール血症、低カリウム血症、高カリウム血症、	20人
筋骨格系疾患	廃用性症候群、骨粗鬆症、変形性膝関節症、慢性関節リウマチ、変形脊椎症、顎関節脱臼、腰部脊椎管狭窄症、頸椎症性脊髄症、サルコペニア、痛風、脊柱管狭窄症、偽痛風	35人
消化器系疾患	便秘症、胆のう炎、B型肝炎、逆流性食道炎、胆管結石、食道裂孔ヘルニア、慢性胃炎、胆のう結石、横隔膜ヘルニア、胃潰瘍、十二指腸潰瘍、胆管炎、出血性内痔核、脱肛、胆石、胆嚢炎、原発性胆汁性胆管炎、難治性腹水、慢性下痢症、C型肝炎	30人
眼科系疾患	白内障、緑内障、網膜色素変性症	11人
婦人科系疾患	卵巣嚢腫	1人
泌尿器系疾患	腎機能障害、慢性腎不全、前立腺肥大、尿路感染症、腎盂腎炎、尿管結石、高尿酸血症、急性細菌性前立腺炎、腎盂嚢胞、過活動膀胱、慢性腎障害	17人
皮膚科系疾患	皮脂欠乏性湿疹、進行性指掌角皮症、蜂窩織炎、帯状疱疹	6人
自己免疫疾患	橋本病、甲状腺機能低下症、サルコイドーシス、ANCA関連腎炎	5人
血液系疾患	貧血、鉄欠乏性貧血	2人

(2) ショートステイ事業

－短期入所生活介護事業、介護予防短期入所生活介護事業－

◆ 月別利用状況（定員：10人／日）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
利用者数	39人	46人	43人	42人	41人	43人
利用日数	316日	317日	299日	318日	312日	301日
平均利用日数	8.1日	6.9日	7.0日	7.6日	7.6日	7.0日

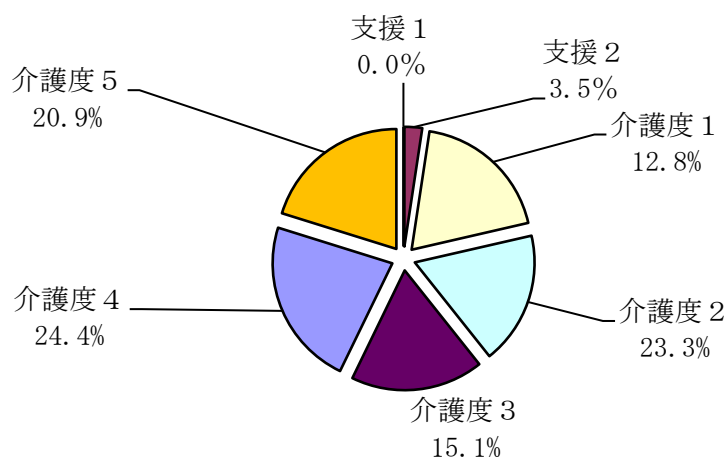
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
利用者数	42人	42人	44人	43人	39人	40人	504人
利用日数	306日	285日	289日	293日	293日	313日	3,642日
平均利用日数	7.3日	6.8日	6.6日	6.8日	7.5日	7.8日	7.2日

※ 平均利用率 99.9% (96.3%) ()内は前年度

◆ ショートステイ利用者の要介護度（年間・実人員）

	支援1	支援2	介護度1	介護度2	介護度3	介護度4	介護度5	計
利用者数	0人	3人	11人	20人	13人	21人	18人	86人
	0.0%	3.5%	12.8%	23.3%	15.1%	24.4%	20.9%	100.0%

※ 平均介護度 3.2度 (3.1度) *要支援を除く。()内は前年度



(3) デイサービス事業

－通所介護事業、介護予防・日常生活支援総合事業（総合事業）、介護予防支援事業－

ア デイサービス

(ア) 通所介護、介護予防・総合事業（国基準相当）、介護予防支援

◆ 月別利用状況（定員 25 人／日）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
利用者数 a	384人	407人	390人	417人	423人	394人
利用者数 b	54人	56人	49人	50人	49人	43人
利用者数 c	7人	9人	9人	7人	10人	8人
計	445人	472人	448人	474人	482人	445人
利 用 率	68.5%	69.9%	71.7%	70.2%	71.4%	71.2%

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
利用者数 a	409人	406人	370人	372人	368人	381人	4,721人
利用者数 b	51人	51人	47人	48人	61人	73人	632人
利用者数 c	7人	10人	7人	8人	8人	9人	99人
計	467人	467人	424人	428人	437人	463人	5,452人
利 用 率	69.2%	71.9%	70.7%	71.3%	72.8%	71.2%	70.8%

※ 平均利用率 70.80% (71.7%) () 内は前年度

※ 利用者数 a は、介護給付の利用者（要介護 1 から 5）

※ 利用者数 b は、総合事業（国基準相当）の利用者（要支援 1・2 及び事業対象者）

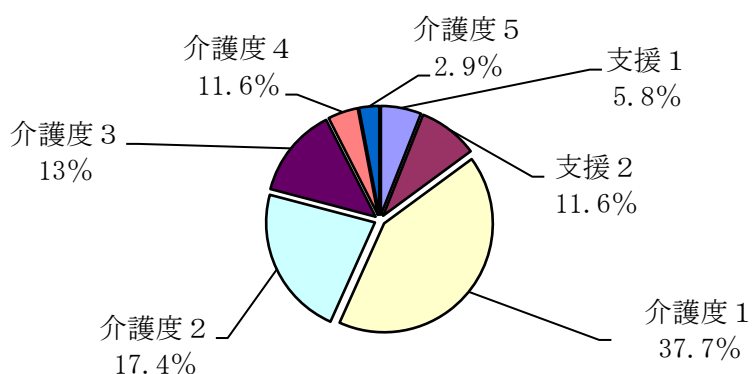
※ 利用者数 c は、介護予防支援事業利用者（要支援 1 及び事業対象者）

※ 年間稼働日は、308 日（総合事業も同様）

◆ デイサービス利用者（利用者 a ～c）の要介護度（令和 7 年 3 月 31 日現在）

	支援 1	支援 2	介護度 1	介護度 2	介護度 3	介護度 4	介護度 5	計
利用者数	4人	8人	26人	12人	9人	8人	2人	69人
	5.8%	11.6%	37.7%	17.4%	13.0%	11.6%	2.9%	100.0%

※ 平均介護度 2.1 度 (2.1 度) * 要支援を除く。 () 内は前年度



(イ) 総合事業（区独自基準：通所サービスA）

◆ 月別利用状況（定員8人／日）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
利用者数d	53人	44人	37人	38人	32人	40人
利 用 率	25.5%	20.4%	18.5%	17.6%	14.8%	20.0%

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
利用者数d	49人	47人	42人	33人	31人	29人	475人
利 用 率	22.7%	22.6%	21.9%	17.2%	16.2%	13.9%	19.3%

※ 平均利用率 19.3% (35.0%) () 内は前年度

◆ デイサービス利用者（利用者d）の要介護度（令和7年3月31日現在）

	事業対象者	支援1	支援2	計
利用者数	2人	5人	3人	10人
	20.0%	50.0%	30.0%	100.0%

イ 介護者教室

- ・テーマ…「車イスの種類と操作方法」

開催日… 6月22日（2名参加）、3月22日（1名参加）

- ・テーマ…「おむつの種類と使い方」

開催日… 9月21日（7名参加）、1月25日（2名参加）

ウ デイサービス家族懇談会

アンケート配布時に見学や相談は随時受け付けている旨を記入した。

2 処遇の状況

(1) 年間行事実施状況

	行 事 名	実施内容
4月	誕生会 世界・日本の郷土食 お花見	お祝いと会食 鯛飯、煮ごめ、みそ汁、お好み卵焼き、レモンのデザート (広島県)
5月	誕生会 世界・日本の郷土食 端午の節句昼食会	お祝いと会食 タイ風チャーハン、ガイヤーン、ポタージュ、もやしの パッタイ風炒め、コーヒーゼリー（タイ） 各フロアに鯉のぼりを飾り、会食

	菖蒲湯 買い物サロン	
6 月	誕生会 世界・日本の郷土食 午後のお茶会	お祝いと会食 はらこ飯、味噌かんぶら、しらたきの白和え、白桃缶（福島県） フルーツバイキング
7 月	誕生会 世界・日本の郷土食 七夕夕食会 お盆行事（各階ベランダ）	お祝いと会食 ジャンバラヤ、チキンのカレーグリル、カリフラワーとツナのサラダ、フルーツカクテル（アメリカ） 各フロアに七夕を飾り、会食 迎え火、送り火
8 月	誕生会 世界・日本の郷土食	お祝いと会食 枝豆ご飯、イモ煮、だし、スイカ（山形県）
9 月	誕生会 世界・日本の郷土食 敬老会 スイーツビュッフェ お神輿	お祝いと会食 鰯のエスカベッシュ、青菜と豆のスープ、シュレドレッシングサラダ、なしのコンポート（フランス） 敬老のお祝い プチケーキ、ババロア、ゼリー
10 月	誕生会 世界・日本の郷土食 秋まつり	お祝いと会食 鶏肉のシュニッツェル、コーンスープ、ジャーマンポテトサラダ、スパゲッティソテー（ドイツ） ゲーム、模擬店
11 月	誕生会 世界・日本の郷土食 洋菓子を楽しむ会 買い物サロン	お祝いと会食 かんぴょうご飯、焼餃子、ナスといんげんの油味噌、清汁、イチゴムース（栃木県） ケーキ
12 月	誕生会 世界・日本の郷土食 餅つき ゆず湯 クリスマス会	お祝いと会食 人参ピラフ、ロールキャベツ、スープ、オリビエサラダ、ふどうゼリー（ロシア） ケーキやお菓子を楽しむ
1 月	誕生会 世界・日本の郷土食 新年祝賀会 初詣	お祝いと会食 牛肉のレモンステーキ風、ちゃんぽん炒め、みそ汁、プリン（長崎県） グループ毎におせち料理会食、祝賀 平田神社参拝
2 月	誕生会 世界・日本の郷土食 節分 午後のお茶会	お祝いと会食 メキシカンピラフ、枝豆スープ、トマトのスクランブル、アボカドサラダ、パインムース（メキシコ） ケーキ
3 月	誕生会 世界・日本の郷土食 雛祭り 阿波踊り	お祝いと会食 ハントンライス、レタスとハムのスープ、きのこ枝豆のサラダ、キウイフルーツ（石川県） フロアで雛人形を飾り、会食

(2) クラブ活動実施状況

今年度は以下のクラブ活動を再開した。

クラブ名	実施日等	実施内容
手工芸クラブ	毎月 1 回	毛糸を用いた共同作品
クラシックコンサート	毎月 1 回	山口音楽教室（バイオリン、ピアノ等）
読み聞かせ	毎月 1 回	図書館職員による読み聞かせ
音楽療法	月 1 回	ピアノ等楽器に合わせての歌の会
喫茶あい	第 2 / 4 週	1 階での喫茶店

(3) ボランティアの受入れ状況

今年度は退職した職員による傾聴ボランティア（週 2 回）の他に、敷地内の植栽剪定ボランティア、作業活動のボランティアを週 1 回受け入れた。

(4) 実習生の受入れ状況

	[実人員]	[延人員]
① 看護学生	12 人	12 人
② 介護学生	2 人	2 人

(5) 医療体制

① 管理医勤務日数	100 日
② 従事医勤務日数	96 日
（ 内訳 ） 内科医	（ 30 日 ）
皮膚科	（ 12 日 ）
眼科	（ 6 日 ）
精神科医	（ 24 日 ）
整形外科	（ 24 日 ）
③ 歯科医口腔衛生指導日数	22 日

(6) 防災体制

	実施項目	実施内容
4 月	あやめの苑の防災対策の確認	あやめの苑・代々木防災対策内容確認
5 月	初期消火訓練	消火器の取扱い説明と放水訓練
6 月	AED 使用訓練（刺す又含）	AED 及び刺す又の使用方法を学ぶ
7 月	通報、機器の取扱訓練	複合火災受信機、火災報知器の取扱いを学ぶ

8 月	避難誘導訓練	入居者をシートで包みベッドから窓際まで移動させる
9 月	避難訓練	消防署への通報と緊急館内放送訓練
10 月	合同防災訓練（総合避難訓練）	代々木三、四丁目町会、地元消防団と連携して、渋谷消防署（代々木出張所）の立ち会いのもと、火災時の初期消火並びに避難誘導訓練を実施。起震車体験も実施
11 月	B C P（災害時編）訓練	備蓄品の確認及び試食
12 月	災害想定訓練（机上編）	フロアごとに火災発生対応を考える
1 月	緊急時安否確認メール（1 回目）	緊急時職員の安否確認訓練
2 月	緊急時安否確認メール（2 回目）	緊急時職員の安否確認訓練（1 回目にエラーが発生したため 2 回目を行う）
3 月	避難誘導訓練	1 1 9 番通報訓練他

3 職員配置（令和 7 年 3 月 3 1 日現在）

	施設長	課長	事務	介護支援専門員	介護士	栄養士
正規職員	1人	3人	3人	5人	30人	1人
非正規職員					11人	
	調理	作業療法士	理学療法士	看護師	合計	総合計
正規職員	4人	1人	1人	6人	55人	70人
非正規職員	2人			2人	15人	

※ 施設長は、介護支援専門員 1 人

※ 課長は、参与（事務）、総務課長（事務）、事業課長（介護支援専門員）各 1 人

※ 正規職員のうち介護士 1 人が育休取得中

※ 上記のほか短時間勤務臨時職員あり（事務・介護士・栄養士・調理）

4 勤務体制

職員は 1 か月ごとの勤務割表により、週平均 4 0 時間勤務する。

(1) 特別養護老人ホーム及びショートステイ担当職員

職種	勤務	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
介護士	早1						7:00											15:45							
	早2						8:00												16:45						
	日1								9:15											18:00					
	日2								10:15												19:00				
	遅1									11:15												20:00			
	遅2										12:15												21:00		
	遅3											13:15												22:00	
	夜勤									7:15											21:45				
看護師	平常								8:30										17:15						
	夜勤										9:30						16:30								
調理	早番				6:00													14:45							
	平常								8:30										17:15						
	遅番									10:45												19:30			

(2) デイサービス担当職員

職種	勤務	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
介護士	平常								8:30										17:15						
看護師	遅番									9:15										18:00					

(3) その他の職員

職種	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
事務 介護支援専門員 栄養士 作業療法士 理学療法士									8:30									17:15						

5 職員研修

職 種	研修内容	延参加人数	延研修日数
管理者	人権問題雇用主研修会、高齢者虐待防止研修、管理職のためのメンタルヘルス、介護現場におけるハラスメント対策説明会	4人	4日
介護支援専門員	介護支援専門員専門研修再研修、介護支援専門員専門研修（アセスメントのこれまでとこれから）、高齢者虐待防止研修	4人	4日

介護士	スキルアップ研修（医療的知識編）、認知症介護基礎研修、たんの吸引等の実施のための研修、介護施設における安全対策担当者養成研修、日本版B P S Dケアプログラムアドミニストレーター研修、社会福祉事業従事者人権研修、育成面談研修、生活支援としてのポスチュアリングを学ぼう	10人	56日
看護師	医療機関・介護施設での感染予防～実践編～、高齢者施設における結核予防	3人	3日
事務	会計実務研修	1人	1日
全職員	感染症対応（ノロ、P P E）、緊急時対応、全身清拭、服薬手順、陰部洗浄、適切なケアを考える、看取り、手洗いチェック（感染防止）、倫理研修、身体拘束適正化、虐待防止（不適切ケア）、事故防止、褥瘡、事故防止（福祉用具活用）、B C P	284人	27日

※ 地域包括支援センターの職員研修については、別途記載

渋谷区美竹の丘・しぶやの事業報告

渋谷区美竹の丘・しぶやは、渋谷区で初めて開設された「ユニットケア」による特別養護老人ホームである。全室を入居者のプライバシーに配慮した個室とし、個室と食事や機能訓練を行うリビングを1つの生活単位（ユニット）として、7～8名定員の小人数の家庭的な雰囲気の中で介護を行っている。

今年度は感染症の発生予防及び拡大防止に努めつつ、イベントや行事、ボランティアの方による活動を充実させて、入居者の生活の質の向上に努めた。新型コロナウイルス感染症が発生したが、管理医・保健所等関係機関との連携の下、職員の的確かつ迅速な対応により、事業は支障なく継続できた。

また、今後のより良い施設運営に資する情報を得るため、福祉サービス第三者評価を実施した。

- ◆ 特別養護老人ホーム事業
- ◆ ショートステイ事業

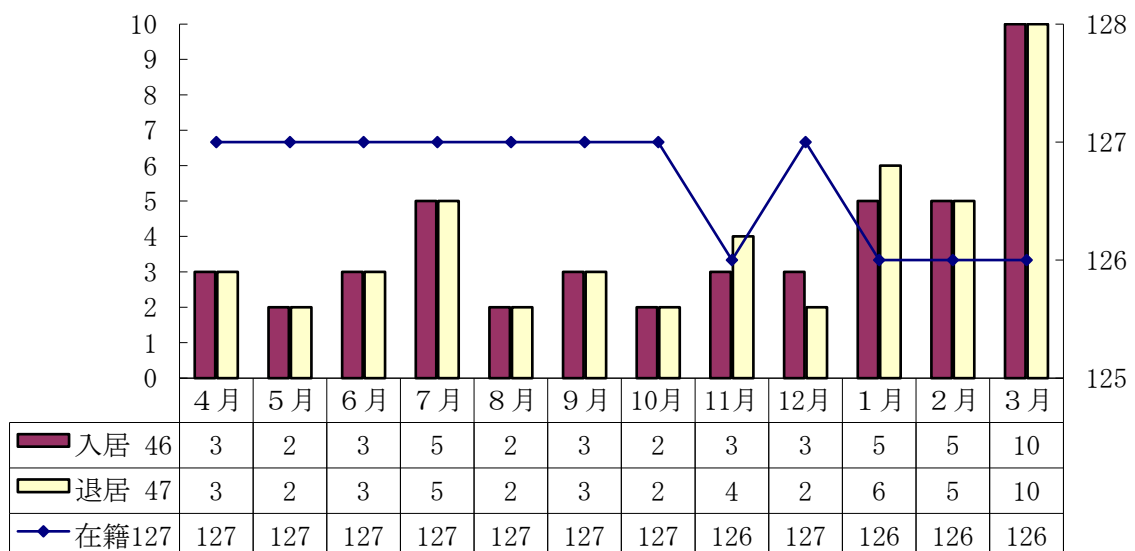
また、それぞれの事業の運営状況は以下のとおりである。

1 施設の利用状況

(1) 特別養護老人ホーム事業（定員127人）

ア 入退居の状況

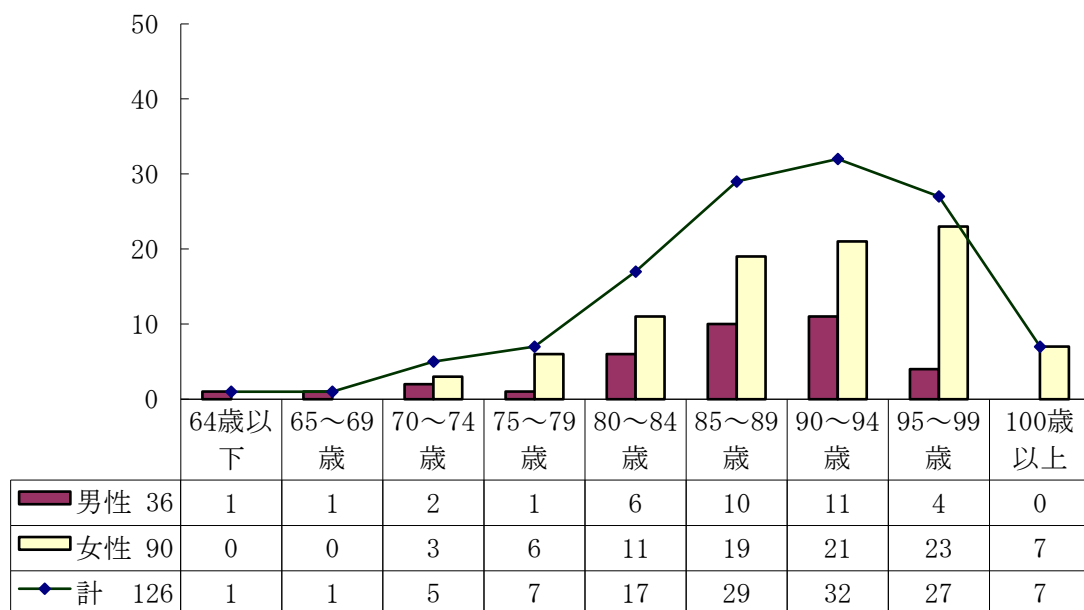
(単位：人)



※ 平均利用率 95.5% (96.2%) () 内は前年度

イ 入居者の年齢・性別（令和7年3月31日現在）

（単位：人）



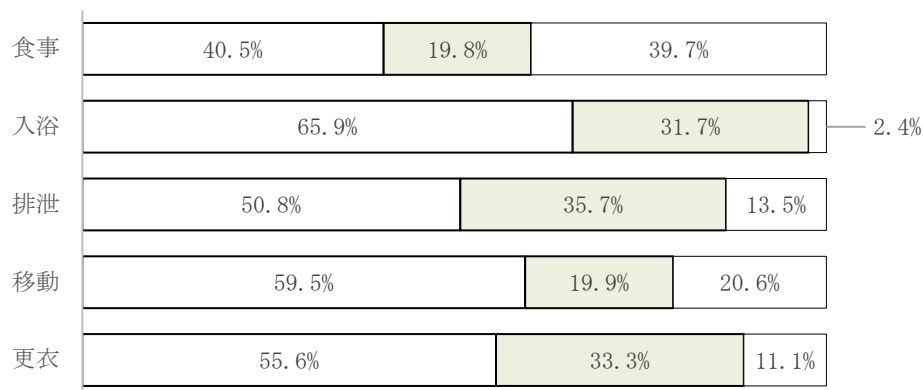
※ 平均年齢 全体89.2歳（89.2歳）男性87.0歳（85.7歳）女性90.0歳（90.6歳）

※ 最高齢者 男性98歳（99歳）女性105歳（105歳）（ ）内は前年度

ウ 入居者の介助状況（令和7年3月31日現在）

	全介助	一部介助	見守り
食 事	51人	25人	50人
入 浴	83人	40人	3人
排 泄	64人	45人	17人
移 動	75人	25人	26人
更 衣	70人	42人	14人

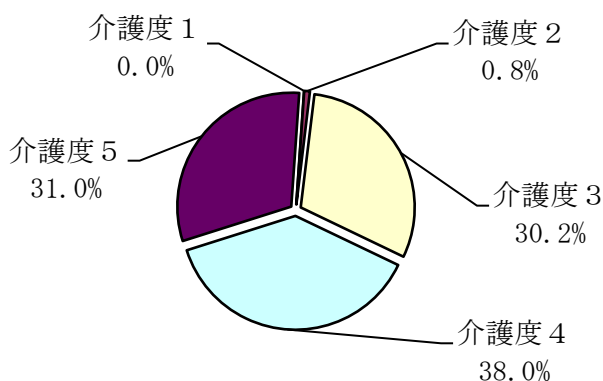
□全介助 □一部介助 □見守り



エ 入居者の要介護度（令和7年3月31日現在）

要介護度	介護度1	介護度2	介護度3	介護度4	介護度5	計
利用者数	0人	1人	38人	48人	39人	126人
	0.0%	0.8%	30.2%	38.0%	31.0%	100.0%

※ 平均介護度 4.0度（4.1度） （ ）内は前年度



オ 入居者の疾病状況（重複計上）

疾患群	病 名	人数
脳血管系疾患	脳梗塞、脳梗塞後遺症、脳出血後遺症、ラクナ梗塞、水頭症、外傷性硬膜下出血、高次機能障害、多発性脳梗塞、慢性硬膜下血腫、クモ膜下出血後遺症、虚血性脳血管障害、陳旧性脳梗塞、小児麻痺後遺症、奇形性脳栓塞症、血管性脳幹梗塞、脳動脈瘤、アミロイドアンギオパチー	75 人
悪性新生物	乳癌、胃癌、大腸癌、口腔がん、皮膚がん、胆のうがん、胆管癌、子宮癌、肺癌、膀胱癌、腎盂癌、横行結腸癌、甲状腺がん、脳腫瘍、十二指腸乳頭部癌、悪性黒色腫、直腸癌	31 人
精神神経系疾患	認知症、アルツハイマー型認知症、レビー小体型認知症、血管性認知症、うつ病、アルコール依存症、不眠症、不安神経症、躁うつ病、統合失調症、意味性認知症、パーキンソン病、パーキンソン症候群、てんかん、症候性てんかん	112 人
循環器系疾患	高血圧症、狭心症、慢性心不全、不整脈、心房細動、閉塞性動脈硬化症、頸動脈硬化症、貧血、深部静脈血栓症、鉄欠乏性貧血、腹部大動脈瘤、陳旧性心筋梗塞、下肢静脈瘤、大動脈弁狭窄症、心肥大、心臓弁膜症、胸部解離性大動脈瘤	140 人
呼吸器系疾患	慢性気管支炎、肺転移、低酸素血症、肺気腫、肺膿瘍、気管支喘息、咳喘息、肺栓塞症、気胸、結核、肺サルコイドーシス	35 人

内分泌系疾患	甲状腺機能低下症、高尿酸血症、糖尿病、低カリウム血症、甲状腺腫、脂質異常症、バセドウ病、大動脈弁狭窄症、高 Na 血症	63 人
筋骨格系疾患	胸腰椎圧迫骨折、変形性膝関節症、大腿骨骨折、大腿骨転子部骨折、大腿骨頸部骨折、骨粗鬆症、腰痛症、坐骨神経痛、脊柱管狭窄症、頸椎症性脊椎症、大腿骨遠位端骨折、肩関節炎、変形性胸椎症、変形性腰椎症、ヘバーデン結節、腰椎破裂骨折、椎間板ヘルニア、骨髄炎、変形性膝関節症	146 人
消化器系疾患	胃潰瘍、便秘症、肝膿瘍、逆流性食道炎、総胆管結石、胆管萎縮、直腸潰瘍、マロリーワイス症候群、潰瘍性大腸炎、肝機能障害、食道裂孔ヘルニア、大腸ポリープ	80 人
眼科系疾患	白内障、緑内障、網膜色素変性症、全盲、眼瞼下垂、眼瞼痙攣	22 人
泌尿器系疾患	前立腺肥大症、過活動膀胱、結石性腎盂腎炎、糖尿病性腎症、慢性腎臓病、腎性貧血、神経因性膀胱、腎結石	38 人
皮膚科系疾患	フリンケル形成、乾癬、凍瘡、白癬、爪白癬、蜂窩織炎、脂漏性角化症、脂漏性湿疹	10 人
婦人科系疾患	子宮筋腫、乳房腫瘍	21 人
自己免疫疾患	シェーグレン症候群	1 人

(2) 短期入所（ショートステイ）事業

－短期入所生活介護事業、介護予防短期入所生活介護事業－

◆ 月別利用状況（定員 28 人／日）

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
利用者数	113人	117人	110人	118人	121人	121人
利用日数	835日	844日	828日	860日	858日	824日
平均利用日数	7.4日	7.2日	7.5日	7.3日	7.1日	6.8日

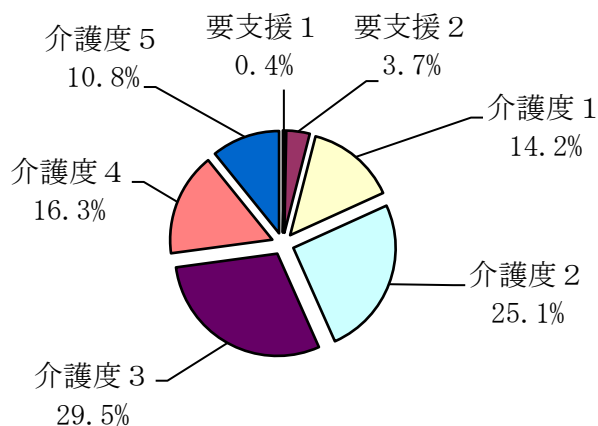
	10月	11月	12月	1 月	2 月	3 月	計
利用者数	118人	122人	122人	130人	123人	125人	1,440人
利用日数	869日	856日	888日	900日	801日	926日	10,289日
平均利用日数	7.4日	7.0日	7.3日	6.9日	6.5日	7.4日	7.1日

※ 平均利用率 100.7% (99.1%) () 内は前年度

◆ ショートステイ利用者の要介護度（年間・実人員）

	要支援 1	要支援 2	介護度 1	介護度 2	介護度 3	介護度 4	介護度 5	計
利用者数	1人	11人	42人	74人	87人	48人	32人	295人
	0.4%	3.7%	14.2%	25.1%	29.5%	16.3%	10.8%	100.0%

※ 平均介護度 2.8度（3.1度） *要支援を除く。（ ）内は前年度



2 処遇の状況

（1）年間行事実施状況

ア 全体実施

	行事名	実施内容
4月	行事食、世界・日本の郷土料理	お花見松華堂弁当・ヒカド（長崎）
5月	行事食、世界・日本の郷土料理 お買い物会 近隣散歩 菖蒲湯	お刺身御膳・こくしょう（愛媛） 春夏の衣類を中心に開催 近隣の商業施設へ散歩と買い物 各階浴室にて
6月	行事食、世界・日本の郷土料理	初夏の献立・シュクメルリ（ジョージア）・てんかけ・ラーメン（和歌山）
7月	行事食、世界・日本の郷土料理	七夕献立・土用の丑献立・呉汁（埼玉）
8月	行事食、世界・日本の郷土食	夏の御膳・エスカロップ（北海道）
9月	行事食、世界・日本の郷土食 敬老会	敬老お祝い御膳・十五夜メニュー・まんばのけんちゃん（香川） 区長・区議会議長からお祝いの手紙と花束等、施設長から表彰状を各階入居者の代表へ贈呈し、記念撮影

10月	行事食、世界・日本の郷土料理 美竹まつり	お刺身御膳・ハロウィンメニュー・いも煮（福島） 3・4・5階、6・8階、7・9階に分かれて日程をずらし、模擬店やゲームコーナー、記念撮影コーナー等開催
11月	行事食、世界・日本の郷土料理 お買い物会 オペラ鑑賞	海鮮ちらし寿司・素ラーメン（鳥取） 秋冬の衣類を中心に開催 オペラ歌唱とピアノ演奏
12月	行事食、世界・日本の郷土料理 近隣ドライブ ゆず湯	クリスマスメニュー・三平汁（北海道） 近隣の銀杏並木などを車中から鑑賞 各階の浴室にて
1月	行事食、世界・日本の郷土料理	おせち料理（お雑煮・賀正盛り合わせ）・いもの子汁（岩手）
2月	行事食、世界・日本の郷土料理	節分メニュー（太巻き・稲荷寿司）・ロヒケイト（フィンランド）
3月	行事食、世界・日本の郷土料理 春まつり	ひな祭りメニュー（海鮮ちらし寿司）・徳島井（徳島） 2階ホールにて歌謡ショーと各階にておやつバイキング

イ 各ユニット実施

各ユニットでは、年間を通して次のような行事を実施した。

◆ 入居者に関するもの

誕生日会、100歳のお祝い会、工作

◆ 食に関するもの

お菓子づくり、出前、ランチ会、茶話会、かき氷、果物を楽しむ会

◆ 季節に関するもの

菖蒲湯、母の日、父の日、七夕、納涼行事、暑気払い、スイカ割り、お月見、ハロウィンパーティー、ミニ運動会、ゆず湯、クリスマス、正月行事、書初め、新年会、節分、バレンタインデー、ひな祭り

◆ 外出に関するもの

近隣の散歩と買い物（宮下公園）

（2）クラブ活動実施状況

以下の活動については感染予防に配慮しながら実施した。

クラブ名	実施日等	実施内容	延参加人数
園芸クラブ	3か月に1回	花苗の手入れと植え替え	10～15人
生け花クラブ	月1回	生け花	72人

(3) ボランティアによる行事の開催状況

以下の活動については感染予防に配慮しながら実施した。

活 動 名	内 容	ボランティア の延参加人数
歌唱（歌謡曲・唱歌等）	カラオケと参加者の合唱	12 人
演奏	チェロ、ピアノ、常磐津、フルート	8 人
舞踊	フラダンス、ベリーダンス	12 人
ヘアカット	6 階美容室において、ヘアカット・シャ ンパー・ブローを行う	48 人
傾聴（会話）	個人またはグループによる会話や傾聴	6 人
動物とふれあう会	犬や猫の小動物とのふれあい	中止
朗読	詩や絵本、紙芝居等の朗読	中止
合 計		86 人

(4) 施設内のイベント活動

活 動 名	内 容	回数	延参加人数
歌唱&楽器演奏等	歌の披露（オペラ）	1 回	40 人
保育園等との交流会	園の行事（敬老会）に参加、移動 水族館	2 回	40 人
美竹まつり	模擬店、ゲームコーナー等の開催	1 回	140 人

(5) 実習生の受け入れ

①介護福祉士実習 3 人

②社会福祉士実習 1 人

(6) 医療体制

① 管理医勤務日数 1 8 5 日

② 従事医勤務日数 1 0 3 日

（ 内 訳 ） 内科医 （ 2 4 日 ）

皮膚科 （ 3 1 日 ）

精神科 （ 2 4 日 ）

整形外科 （ 2 4 日 ）

① 歯科医口腔衛生指導日数 2 4 日

(7) 防災体制

	実施項目	実施内容
4月	防災研修・訓練	5階で実施。不適切箇所が無いか、場内パトロールを実施し、避難通路に障害物等がないか点検を実施した。また、新人職員に消火器、消火栓の設置場所を説明した。
5月	防災研修・訓練	6階で実施。消火器、消火栓の設置場所の説明を実施。前月に続き火災警報が発砲された場合の各種機器の説明及び対応方法について説明した。
6月	合同消防訓練	5階Dユニットからの出火を想定した施設全体の消防訓練（通報、非常放送、初期消火、避難誘導等を実施）。水消火器を使用した消火訓練、ポータブル発電機の使用方法について説明した。
7月	防災研修・訓練	8階で実施。6月実施の合同消防訓練の振り返りを行った。（防火扉の位置、適正な使用方法を説明、居室内で避難する際の対応について説明も実施）
8月	防災研修・訓練	7階で実施。消防隊員による心肺蘇生の動画鑑賞を行い、AEDの取り扱い方法について説明した。
9月	防災研修・訓練	6階で実施。ハザードマップの確認、災害時に生じる食の問題、災害発生後、時系列ごとの課題、関係団体等との連携等について説明を実施した。
10月	合同消防訓練	4階Dユニットからの出火を想定した施設全体の消防訓練（通報、非常放送、初期消火、避難誘導等を実施）。水消火器を使用した消火訓練、ポータブル発電機の使用方法を説明した。
11月	防災研修・訓練	3階で実施。10月実施の合同消防訓練の振り返りを行った。（防火扉の位置、適正な使用方法を説明、居室内で避難する際の対応について説明も実施）
12月	防災研修・訓練 夜間停電発生時の対応訓練	6階で実施。夜間を想定した火災時の夜勤一人体制時での対応について東京消防庁の動画を見ながら、当施設での対応について説明を実施した。ポータブル発電機の使用方法も説明した。
1月	防災研修・訓練	7階で実施。自衛消防訓練の動画鑑賞を実施、施設内の消防設備、火災発生時の手順について説明した。また、全職員を対象とした安否確認メールを送信し、職員だけでなく利用者の安否確認、インフラの状況についても報告訓練を実施した
2月	防災研修・訓練	8階で実施。不適切箇所が無いか、場内パトロールを実施し、避難通路に障害物等がないか点検を実施した。また備蓄食料品、飲料水の保管場所の説明を行い、必要量、消費期限の確認を実施した。
3月	防災研修・訓練	9階で実施。地震発生後の初動対応について説明を実施した。また、BCPの資料の読み合わせを行い、基本方針、行動基準について再周知した。

3 職員配置（令和7年3月31日現在）

	施設長	課長	事務	介護支援 専門員	介護士	
正規職員	1人	2人	3人	6人	63人	
非正規職員					23人	
	栄養士	作業 療法士	理学 療法士	看護師	合計	総合計
正規職員	1人	1人	1人	9人	87人	111人
非正規職員				1人	24人	

※ 施設長は、事務1人

※ 課長は、総務課長（事務）、事業課長（介護支援専門員）各1人

※ 正規職員のうち介護士2人が育休取得中

※ 上記のほかに短時間勤務職員あり（事務・介護支援専門員・介護士・看護師）

4 勤務体制

職員は1か月ごとの勤務割表により、週平均40時間勤務する。

（1）介護士

職種	勤務	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
介護士	早番1					7:00													15:45						
	早番2							8:00											16:45						
	日勤1									9:15											18:00				
	日勤2										10:15											19:00			
	遅番1											11:15											20:00		
	遅番2												12:15											21:00	
	遅番3													13:15											22:00
	夜勤								7:10													21:50			

（2）看護師

職種	勤務	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
看護師	日勤									8:30									17:15						
	夜勤											9:30					16:30								

(3) その他

職種	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
事務 介護支援専門員 栄養士 作業療法士 理学療法士								8:30										17:15						

5 職員研修

福祉・保健・医療の連携を図るため、介護に関する研修等に参加し、自己研鑽に努めた。

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、小人数での実施や書面での研修を行った。

職種	研修内容	延参加人数	延研修日数
管理職	ハラスメント防止研修・虐待防止研修	4人	2日
介護支援専門員	高齢者権利擁護研修、介護報酬改定、東京都介護支援専門員研修、カスタマーハラスメント対策、施設ケアマネジメントの実践力アップ講座、F-SOAIIPを活用したマイクロ・メゾ・マクロの展開	13人	17日
介護士	介護職員等によるたんの吸引等の実施のための研修、福祉現場で活かすサービスを学ぶセミナー、介護職員スキルアップ研修、東京都認知症介護実践者・実践リーダー研修、リスクマネジメント研修、口腔ケア研修、ヒヤリハットに学ぶ福祉用具の安全な利用、排泄の仕組みと福祉用具、アサーティブコミュニケーション、育成面談	58人	73日
看護師	認定看護師によるハンズオンセミナー、フィジカルイグザミネーション、難治性皮膚炎に対する治療、支援、たん吸引等指導看護師研修	3人	4日
事務	介護報酬改定	1人	1日
栄養士		0人	0日
機能訓練指導員		0人	0日
全職員	虐待防止研修、ハラスメント防止研修、認知症ケアに対する知識向上、ノロ対応ユニット研修、感染症対策（PPE着脱、ゾーニング）、認知症ケアを考える、適切なケアを考える、事故防止（骨について）、緊急時救急対応、救命講習、身体拘束適正化研修、ポジショニング研修、サービスマナー研修、介護記録について、ICT機器研修、リスクマネジメント研修、看取り研修、倫理研修	280人	35日

母子生活支援施設の事業報告

1 事業運営に関する報告

母子生活支援施設では、児童福祉法内施設として「母と子が安心できる場」の実現を基本理念に掲げ、今年度も「母の自立支援」「子どもの育ちへの支援」「親子関係を育むための支援」「施設退居後の生活の広がりへの支援」「児童虐待防止」を重点的に取り組んだ。

事業運営にあたっては、ファミリーソーシャルワークとケアワークの手法により、母と子が営む家庭生活を「丸ごと」側面的に支援をする姿勢で取り組んだ。

2 施設の利用状況（令和7年3月31日現在）

定員	入居世帯数	入居児童数	入居者合計	母親平均年齢
16世帯	6世帯	8人	14人	40歳

◆ 入居児童の内訳（令和7年3月31日現在）

乳幼児	小学校 低学年	小学校 高学年	中学生	高校生	短大生/大学生 /専門学校生	合計
4人	2人	1人	1人	0人	0人	8人

◆ 入居理由

- ・住宅困窮

◆ 世帯の内訳

	世帯数
2人世帯	4世帯
3人世帯	2世帯
4人世帯	0世帯
5人世帯	0世帯
6人世帯	0世帯
計	6世帯

◆ 入・退居状況

	世帯数	人数（うち児童数）	退居世帯の平均利用期間
入居	3 世帯	7 人（4 人）	
退居	5 世帯	1 3 人（8 人）	
	<退居先> 都営住宅：2 世帯、公営住宅：1 世帯、民間：2 世帯 その他：0 世帯		

[月別入退居の動向]（月末世帯数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
入居世帯数	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0
入居人数	0	2	0	2	0	0	0	3	0	0	0	0
退居世帯数	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	2	0
退居人数	0	3	2	2	0	0	0	0	0	0	6	0
総世帯数	8	8	7	7	7	7	7	8	8	8	6	6
在所人数	20	19	17	17	17	17	17	20	20	20	14	14

3 支援の状況

（1）子どもの育ちへの支援

			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入居児童	遊び支援	延人数	145	130	119	99	123	137	114	90	106	80	72	47	1,262
		時間	337	263	267	245	499	347	334	195	266	160	204	110	3,227
	学習支援	延人数	25	29	14	43	26	33	23	18	20	28	27	27	313
		時間	39	32	11	64	34	29	18	18	19	27	23	6	320
退居児童	遊び支援	延人数	56	49	59	68	93	43	60	28	49	33	56	103	697
		時間	216	146	127	150	344	109	221	64	125	80	124	418	2,124
	学習支援	延人数	10	68	88	77	60	56	77	63	48	48	59	24	678
		時間	17	106	131	114	92	64	108	82	66	83	103	37	1,003

ア 遊び支援

児童の遊び支援は、子どもの様子確認や要保護児童に関わる貴重な時間であり、遊びを通して楽しさを実感してもらい、心の安定を育む時間として有効であった。

イ 学習支援

学習支援は平日の17時から19時及び長期休み期間は10時から11時に宿題を中心とした学習の習慣付けや学力の向上・補完を行った。また、今年度も継続事業である生活福祉課の「学習応援事業」として、入居児童及び近隣の退居児童を対象に学習会を実施した。今年度は年間72回開催し、延べ人数699人の参加人数であった。特に中高校生はテスト期間に集中して行ったことで、大きな学力向上に

繋がると共に、今年度も学習応援事業の参加児童の中から大学合格者3名、高校合格者4名と成果を上げることができた。参加世帯からも大変好評を得て、参加児童も定着していった。その他、学習応援事業の一環としてイベントを年2回実施した（「未来科学館・東京トリックアート迷宮館遠足」、「アクアリウム作り・ペンライト作成実験・宝石探し」）。継続した学習支援では、NPO法人・キッズドアによる「イングリッシュ・ドライブ」は年間18回開催し、英語を楽しみながら学ぶことができた。

昨年度と同様に国の特別育成費として、対象となる児童がいる世帯に補習費として塾代を助成した。

（２）安心した生活をするための支援

			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入居児童	補助保育	延人数	9	14	19	26	22	17	15	36	22	21	16	25	242
		時間	6	13	18	18	19	13	10	27	13	16	15	22	190
	病児保育	延人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		時間	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	登降園代行	延人数	1	2	4	6	0	11	2	1	1	0	0	4	32

母と子が安全で安心して暮らせる「生活の場」の提供を第一の目標とし、以下の支援を行った。

ア 生活の場の提供

施設建物老朽化に伴い、今年度は渋谷区長寿命計画として、建物の外壁補修、各居室のベランダ防水工事、外灯や階段・駐輪場のLED交換他、大規模な改修工事を実施した。

また、各居室の劣化の激しい浴室の換気扇交換工事を全居室行い、居住環境の保全に努めた。

イ 就労支援として、就労の継続のために保育園や小学校の送迎支援を行った。昨年同様に登校渋りのある児童に対する登校支援の実施により、登校代行の回数が多かった。

また、家事や休息など母の必要に応じリフレッシュ保育を行い、母親の育児負担の軽減を図り、子どもとの生活時間が確保できるように取り組んだ。

ウ 同行支援

入居者の様々な生活課題を解決するために、社会資源の紹介や情報提供をし、必要に応じて専門機関との連携を図り、その関係先への同行支援を行った。

◆ 今年度に連携・同行した専門機関等

○区役所 ○児童相談センター ○子ども家庭支援センター ○教育センター
○学校 ○保育園 ○病院 ○保健所 ○警察 ○住宅供給公社
○ハローワーク ○社会福祉協議会 ○民生委員・児童委員

(3) 安定した心身を回復するための支援

[心理担当職員の実績]

延人数（人）		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
子ども対応	遊び	0	1	0	0	4	2	0	0	2	1	0	1	11
	補助保育	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2
母親対応	面接	0	0	1	1	0	0	0	0	1	0	2	1	6
	軽面談	6	4	5	1	3	2	2	1	1	2	1	0	28
専門的助言	ケース会議参加	1	0	1	0	1	1	1	1	1	1	1	1	10

心理担当職員が月8日勤務している。支援件数はほぼ横ばいであるが、昨年度より入居者が減少したことを考慮すると、割合としては若干の増加傾向と言える。昨年同様、軽面談の件数が多く、母親自身のことよりも育児に関する相談内容がほとんどであった。

(4) 自立に向けての支援

ソーシャルワークの手法による自立支援を以下のプロセスで実施した。

入所前面談⇒入所時面談[自立支援計画策定]⇒振り返り面談[自立支援計画策定]を半年ごとに見直しするサイクルで、入居者と共に自立支援計画を立て、自立に向けて支援した。入所1年後の振り返り面談では、区役所の所管課の担当者に同席してもらい、合同で面談を実施する。小学生以上の子に対しても入所後に面談を持ち、子どもの意見を尊重しながら目標シートに記入してもらい、児童支援計画を策定し支援した。

(5) 年間行事の実施状況

母や子の社会性を養い、親子の絆を深め、心身のリフレッシュを図ることを目的として各行事を行い、児童の健全育成を図った。年間行事については、感染防止に努めながら実施した。児童対象行事は、日本の伝統的な歳時を取り入れた内容を企画し、母親も自由に参加してもらい、親子で楽しい時間を共有できた。その他、今年度も東京都母子福祉部会主催のドッジボール大会に入退居児童が出場し、準優勝することができた。

また、子ども達の食育を学ぶ機会として、食品加工会社より社会貢献事業の一環として事業展開する食育プログラム『出張工場見学』を開催した。入居児童の他に退居児童も参加し、身近な食に関する正しい知識を得る、とても有意義な機会となった。

母親向けの行事では、日常生活から開放される時間の提供を目的とし、講師を招い

での「ベースメイク講座」「ハーバリウム作り」「クッキング教室」「ヨガ教室」を実施した。

	全体行事	母親対象行事	児童対象行事	その他
4月		全員懇談会	入学・進級を祝う会 子ども会	防災訓練 定期健診（母親）
5月			子どもの日・母の日を祝う会 子ども会	防災訓練
6月		教養講座：「ベースメイク講座」		防災訓練 キッズ美容室 居室点検
7月			七夕会 引率レク「釣り堀・ボウリング」	防災訓練
8月			母子福祉部会ドッジボール大会 引率レク「科学技術館」 おやつ会 子ども会	防災訓練
9月		全員懇談会	お月見	防災訓練 キッズ美容室
10月			引率レク「多摩動物公園」 子ども会	防災訓練 定期健診（母親） 学習応援イベント（遠足）
11月		教養講座：「ハーバリウム作り」	勤労感謝の日を祝う会 子ども会	防災訓練 地区総合防災訓練 キッズ美容室
12月	遠足「八景島シーパラダイス」 クリスマス会		子ども会	防災訓練 キッズ美容室
1月	新春顔合わせ会			防災訓練
2月	遠足「よみうりランド」	教養講座：「クッキング教室」 全員懇談会	節分会 ニチレイ出張工場見学	防災訓練
3月	春のつどい	教養講座：「ヨガ教室」	ひな祭り会 引率レク「上野動物園・国立科学博物館」 子ども会	防災訓練 学習応援イベント（工作教室）

（6）退居世帯に対するアフターケア

ア 母親支援

退居世帯には、在所中に退居時面談を実施し、退居後の生活についての支援内容

を本人と共に検討しアフターケアとして取り組んだ。今年度も母から子ども対応への相談が多くあり、来訪相談や家庭訪問・電話対応などできる範囲で対応した。退居後に問題が発生した世帯には職員間で再検討し、切れ目のない支援を目指した。

児童対象に実施している「イングリッシュ・ドライブ」「学習応援塾」「キッズ美容室」などへの参加を呼びかけ、退居世帯の状況も把握することができた。その他に、奨学金制度や都営住宅の募集などの情報提供、親子の遊び場所、退居児童の学習場所など、昨年と同様にアフターケアで施設を利用する機会が増加した。高校受験を控えた児童を抱える外国籍の母親に対して、学校説明会に同行するなどフォローアップし、無事合格に至った。

[退居者の支援の実績]

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
来 所	延人数（人）	31	55	59	69	76	44	66	43	41	44	64	40	632
	うち心理担当 職員対応（人）	1	2	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	4
	うち心理担当 職員対応（時間・分）	60	100	0	0	0	0	0	0	0	10	0	0	170
電話（延人数）		47	37	46	47	32	44	37	25	23	34	54	87	513

イ 子ども支援

退居児童も入居児童と区別することなく支援をし、児童対象に実施している「イングリッシュ・ドライブ」「学習応援塾」などへの参加を呼びかけ、参加する児童も多かった。施設を利用する退居児童が年々増加し、アフターケアとしての機能が定着してきている。その他に、児童の居場所としての利用に加え、昨年度に引き続き、要保護児童に対するアプローチも継続して行い一定の成果を上げた。

（７）安全・防災管理

災害に対しては、防災訓練を毎月実施し、１０月には消防署員を招いて応急救護の実地指導を受けた。また、職員と入居者で地区総合防災訓練に参加し、地域防災について学びを深めた。

今年度も、飲料水や食料など備蓄品も増量して、災害対策をより一層強化した。入居世帯毎にも緊急持ち出し袋を配置し、有事に備えてもらっている。

（８）関係機関と地域の理解・協力

支援関係者との協働ネットワークの構築の一つとして、渋谷区要保護児童対策地域協議会に参加した。また、地域の主任児童委員や民生委員との協力体制を強化するため、懇談の機会を設け関係機関との連携を図った。その他、入居する児童が通ってい

る小学校と情報共有を含めた連携強化のための懇談会を開催した。地域交流行事は、アフターケアの一環として近隣に退居した世帯を対象に「春のつどい」という形で、軽食を提供し、ゲーム会を開催する内容とし「第二のふるさと」として参加者が親睦を深める会として実施した。入居者・退居者合わせて49名が参加し、大勢の参加者で大盛況に終わった。また、生活実習所つばさの「つばさまつり」や町会主催の「地区総合防災訓練」「夏祭り会」「町内運動会」「お餅つき会」「クリーン大作戦」「ティーボール大会」「ボウリング大会」、地区民生児童委員主催の「ひろば」に子ども達と共に毎月参加するなど、年間を通して地域との交流の機会が増加した。また、小学校教職員主催の「情報交換会」に職員が参加したことを始め、教職員の施設見学会の実施、小学校での運動会や音楽会、陸上競技会、鼓笛パレードなどに学校行事に職員が積極的に参加し、小学校と交流する機会もとても多かった。

(9) その他

ア ボランティアの受入れ

ボランティアの協力は、事業の質の向上や入居者の安全の確保のために大変効果的であり、今年度もしゅやボランティアセンター、実習受け入れ校などに依頼した。協力者には事前に施設の機能や事業内容についての説明を行い、継続的な参加も得られた。

学習支援ボランティアではNPO法人・キッズドアの協力により小学生から高校生の児童を対象とした「イングリッシュ・ドライブ」の実施が定着し、学習指導ボランティアと受講生との交流が深まった。児童にとって、家族以外の社会人との交流の機会は、学習効果とは別に大変意義深いものであった。その他、「キッズ美容室」を実施するにあたって、昨年と同様にカットボランティアにも協力をしてもらい、入退居者には大好評だった。

また、施設行事に母親が安心して参加できるような行事開催時の補助保育についても、ボランティアの協力を得られた。

	学習指導	教養指導	行事・保育	施設整備	合計
延人数	62人	11人	3人	0人	76人

イ 実習生の受入れ

社会福祉人材の育成のため、保育士実習生の受入れを行った。

保育士養成校：4校

実習生：5人

延実習期間：59日間

4 職員配置（令和7年3月31日現在）

	施設長	母子支援員	少年指導員	合計
正規職員	1人	3人	1人	5人

※ 施設長は、母子支援員1人

※ 上記のほか短時間勤務臨時職員あり（心理担当職員・少年指導員）

5 勤務体制

職員は1か月毎の勤務割表により、週平均40時間勤務する。

	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22		
平日		7:30														16:15				
			9:00													17:45				
			9:30													18:15				
			10:15													19:00				
			11:15													20:00				
土日		8:30														17:15				

※ 祝祭日・年末年始は休日である。（ただし、5月4日・12月30日・1月2日は勤務した。）

※ 夜間は警備員を配置している。

6 職員研修

職種	研修内容
母子支援員	・東京都社会福祉協議会：初任者研修 ・東京都社会福祉協議会：中堅職員研修 ・母子福祉部会：新任職員研修会 ・母子福祉部会：職種別情報交換会 ・母子福祉部会：共同親権と子どもの権利擁護について ・母子福祉部会従事者会：研修会 ・事業団本部：ハラスメント防止 ・東京防災救命協会：上級救命講習

渋谷区生活実習所つばさの事業報告

1 事業運営に関する報告

生活実習所つばさは、障害者総合支援法に基づき設置された生活介護施設である。施設の設置目的に従い、障がい者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律の理念により利用者が地域生活を自立的に営めるように配慮して運営した。

利用契約した障がい者に対して、個別支援計画のもと年間事業計画を立案し、四季折々の行事とアート活動及び生産活動を通じて豊かな地域生活支援を実施した。

運営に当たっては、次の基本理念に従い事業を展開した。

- (1) 共に生きる社会の一員として利用者の意思と人格を尊重し、自立した個人としての人権を守る。
- (2) 地域で豊かな社会生活を送るために必要とするサービスを提供する。
- (3) 地域に親しまれる開かれた施設づくりを目指す。

2 利用定員 20人

3 事業実施状況

(1) 施設の利用状況（令和7年3月31日現在）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
在籍者数	18人	18人	18人	18人	18人	18人	18人
支援日数	21日	21日	20日	22日	21日	19日	22日
延出席者	344人	336人	327人	359人	332人	310人	355人
出席率%	91.0%	88.9%	90.8%	90.7%	87.8%	90.6%	89.6%
送迎バス	17人	17人	17人	17人	17人	17人	17人

	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
在籍者数	18人	18人	18人	18人	18人	平均在籍者数	18人
支援日数	20日	20日	19日	18日	20日	支援日数計	243日
延利用者	314人	308人	309人	292人	328人	延出席者数	3,914人
出席率%	87.2%	85.6%	90.4%	90.1%	91.1%	平均出席率	89.5%
送迎バス	17人	17人	17人	17人	17人	平均乗車人数	17人

※ 利用者1人長期療養中のため出席実績なし（実員17人の平均出席率は94.7%）

※ 休業日は、土曜日及び日曜日と国民の祝祭日、年末年始（12月29日から1月3日）

(2) 利用者の年齢と性別（令和7年3月31日現在）

	～19歳	20歳～24歳	25歳～29歳	30歳～34歳	35歳～39歳	40歳～	合計	平均
男性	0人	2人	1人	2人	1人	2人	8人	33.4歳
女性	1人	1人	3人	0人	1人	4人	10人	33.9歳
合計	1人	3人	4人	2人	2人	6人	18人	33.7歳

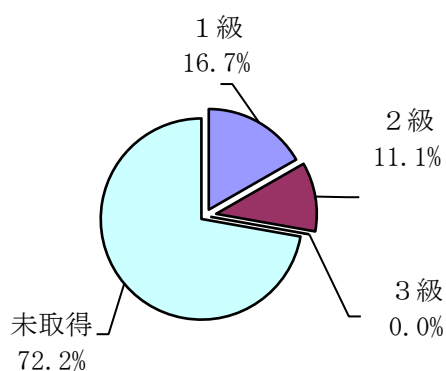
(3) 利用者の障害程度（令和7年3月31日現在）

障害支援区分

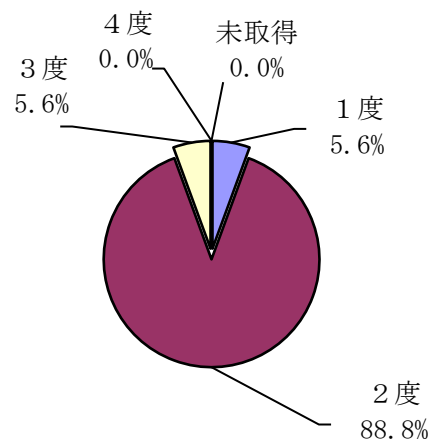
	区分6	区分5	区分4	区分3	区分2	区分1	合計
男性	5人	3人	0人	0人	0人	0人	8人
女性	3人	4人	3人	0人	0人	0人	10人
合計	8人	7人	3人	0人	0人	0人	18人

区 分		身 体 障 害 者 手 帳				合 計
		1 級	2 級	3 級	未取得	
愛の手帳	1 度	0人	0人	0人	1人	1人
	2 度	2人	2人	0人	12人	16人
	3 度	1人	0人	0人	0人	1人
	4 度	0人	0人	0人	0人	0人
	未取得	0人	0人	0人	0人	0人
合 計		3人	2人	0人	13人	18人

身体障害者手帳取得状況



愛の手帳取得状況



(4) 入所前の状況（令和7年3月31日現在）

学校在学	他の福祉施設	在宅	合計
特別支援学校			
15人	3人	0人	18人

(5) 年間行事等実施状況

※ P T：理学療法士、S T：言語聴覚士

月別	行 事（実施日）	講師プログラム	健康管理・衛生
4月	誕生会（11日）	機織り、音楽、ヨガ P T、S T	内科・精神科検診、検便
5月	端午の節句（2日） 誕生会（30日） バスハイク（15・16・17・21日）	機織り、音楽、ヨガ 創作（美術）、P T、S T	内科・精神科検診
6月	梅雨のお茶会（24日） バスハイク（3・4・7日）	機織り、音楽、ヨガ P T、S T	内科・精神科検診
7月	七夕・浴衣会（5日） 誕生会（29日）	機織り、音楽、ヨガ 創作（美術）、P T、S T	内科・精神科検診
8月	誕生会（26日）	音楽、機織り、ヨガ P T、S T	内科・精神科検診 定期健康診断（30日）
9月	誕生会（5日） ランチパル（24・27・30日）	機織り、音楽、ヨガ 創作（美術）、P T、S T	内科・精神科検診
10月	つばさまつり（26日） 誕生会（31日）	機織り、音楽、ヨガ P T、S T	内科・精神科検診、検便
11月	障害者連合運動会（23・祝日） 誕生会（29日）	機織り、音楽、ヨガ 創作（美術）、P T、S T	内科・精神科検診 インフルエンザ予防接種（5日）
12月	誕生会（16日） クリスマス会（23日）	機織り、音楽、ヨガ P T、S T	内科・精神科検診
1月	新年・はたちを祝う会 （17日）	機織り、音楽 創作（美術）、P T、S T	内科・精神科検診
2月	節分（3日） ハッピーバレンタイン（14日）	機織り、音楽、ヨガ P T、S T	内科・精神科検診 歯科健診（28日）
3月	誕生会（17日） お花見（25日） 納め会（27日）	機織り、音楽、ヨガ 創作（美術）、P T、S T	内科・精神科検診

※ インフルエンザ予防接種は嘱託医の協力により施設内で実施した。

※ 行事と講師プログラムは、五感を使う豊かな日中活動の企画運営に努めた。

(6) 活動の実施状況

本人、家族、代理人、相談事業所、関係機関との文書交換と面談により年度初めに個別支援計画を策定し、半年後のモニタリングと家族等への確認と同意により見直しをすることで、利用者の特性に適応した日中活動を提供した。

項 目	内 容
健康に関する領域	・ 定期健康診断と歯科健診を各 1 回実施した。 ・ 内科医、精神科医による検診を毎月 1 回実施した。 ・ インフルエンザ予防接種を施設内で実施した。 ・ 昼食時の服薬管理と服用支援を行った。 ・ 体重測定を毎月 1 回行った。 ・ 栄養士が栄養相談と嗜好調査を実施して、家庭での食事状況と本人と家族からの希望を把握し給食支援に反映した。 ・ 言語聴覚士による食形態の確認や口腔機能改善の取り組みを実施した。 ・ 理学療法士による身体機能維持に向けての助言・指導の充実を図った。 ・ 看護師によるリンパマッサージや血行促進のための足湯等を実施した。
日常生活に関する領域	・ 毎朝利用者の身体機能に応じた「オリジナル・つばさ体操」を実施した。 ・ 日常生活動作機能の維持向上を目的に機能訓練とストレッチ体操に取り組んだ。 ・ 食事、排泄、着脱衣等の生活動作の介助、支援を適切に行った。
コミュニケーション、対人関係に関する領域	・ 集団生活における基本的な約束事（順番を待つ・守る、自他の所有物の区別等）を理解し行動できるように配慮ある支援を行った。 ・ 特性を尊重して、仲間と共に楽しく活動できるように工夫した支援に努めた。 ・ 感情のコントロール、自傷や他害行為の減弱に向けての支援に努めた。 ・ コミュニケーション・ツールとして、マカトンサインや写真などを活用した。
日中活動・社会参加に関する領域	・ ビーズ、機織り、和紙、創作活動を通じて、集中力や達成感を得られるように配慮ある支援をした。 ・ 製パン活動では利用者家族等への一般販売とこども園へ毎月 2 回納品をした。 ・ 「つばさまつり」では製品を販売し、収益を支給金として利用者に還元した。 ・ 音楽療法等では、発散による情緒的安定と自己表現やコミュニケーションを楽しむなどの社会性が身につく活動を取り入れた。 ・ 講師による全員参加活動と、特性を活かす個別活動をバランスよく提供した。 ・ 地域小学校温水プール一般開放を週 1 回活用し健康維持・体力作りに努めた。 ・ 地域の区民会館等の体育室で毎月 2 回全身を使う粗大運動を行った。 ・ 利用者の体力や体調に合わせた外気浴やウォーキングを計画的に実施した。 ・ 年間計画にある行事を全利用者が楽しめるように工夫して提供した。
生活基盤・家族支援に関する領域	・ 利用者への昼食サービスを提供した。 ・ 送迎バスによる送迎サービスを実施した。 ・ 緊急一時保護施設や短期入所施設の利用時の送迎サービスを実施した。 ・ 家族会を 5 回、家族同席の行事を 3 回実施した。 ・ 家族対象に大震災等の被災時の過ごし方について聞き取り調査を実施した。 ・ 家族へ広報誌年 4 回発刊と「お知らせ」の配布、電話等での連携を実施した。 ・ 家族が安心できるように個別面談を実施し、同意の上で保護施設や居宅介護事業所との綿密な連絡を図り、利用者の健康や安全、情緒の安定に配慮した。

4 ボランティア及び実習生の受入れ

(1) ボランティア

「つばさまつり」の開催にあたって、ボランティアを積極的に受け入れた。

(2) 実習生

人材育成に寄与することを目的に社会福祉士および保育士資格取得のための実習と地域生活移行のための実習、移動支援従事者養成講座の受講者の実習を受入れた。

実習種別	社会福祉士 資格取得実習	保育士資格 取得実習	地域生活移行 のための実習	区移動支援従事者 養成講座研修	合計
延人数	3人	1人	3人	8人	15人
延べ日数	54日	13日	1日	1日	69日

5 職員研修

(1) 職員育成研修

支援関係の研修は、東社協知的発達障害部会主催「東京都支援力育成派遣事業の事例報告～障がい者支援施設における高齢・重度化・強度行動障害への対応を考える～」
「職場で起こる暴力について考えよう」を受講した。制度改正等の知識を得るために
「国報酬・都加算の概要」「東京都のグループホーム運営の指針」「サービス管理責任者実践研修」「渋谷区地域生活支援拠点勉強会」を受講した。職員自身を守る内容では「職員の心の健康メンタルヘルスケア」「ハラスメント防止研修」「福祉職員キャリアパス対応生涯研修～中堅職員研修～」の受講と資料回覧、伝達研修を行った。

他に「給食施設における衛生管理のポイント」「お口からの健康について考える。生活支援の悩みはなんですか？」と「食品衛生実務講習会」を受講して利用者と職員の健康管理において食の大切さを再度確認した。

(2) 虐待防止及び権利擁護に関する研修

「障がい者差別解消法に係る説明会（内閣府）」「渋谷区障がい者虐待防止啓発研修」「身体拘束等の適正化推進の義務化」「障がい者虐待防止・権利擁護研修」「C V P P（包括的暴力防止プログラム）を知ろう」を受講し、全職員へ資料の回覧と所内伝達研修を実施し、重要ポイントは日々の心構えとして掲示した。

(3) 感染症及び震災・大規模災害に関する事業継続計画（BCP）に関する研修

区福祉部主催の現地訓練「福祉避難所現地研修会」を全職員が受講した。感染症対応マニュアルと感染症対策指針、震災・大規模災害対応マニュアルの見直しを行い、事業継続計画（BCP）による危機体制の共有と研修を実施した。

6 施設管理に関する報告

(1) 建物・設備等の維持管理

自動扉、床暖房、防災設備等に関しては、定期的に保守点検を委託業者により行った。利用者の安全確保と快適な生活維持のために、①防災カーテン、ブラインド、厨房と給湯室の水栓レバー、トイレのペーパーホルダーの付替え、②戸棚の扉、照明スイッチ、ダクト用換気扇を修理、③洗濯室漏水等経年劣化に伴う不具合の解消に務め

た。

(2) 防災体制

消防設備・器具の定期点検、非常灯の修理及び防災教育の徹底を図った。

防災会議を年3回（4・8・2月）開催した。区防災無線訓練に毎月参加した。消火器、発電機、タタメット、防災頭巾、寝袋等の使用方法を利用者と職員の全員が体験を通して確認をした。

実施月	訓練実施日	内容
4月	8日	避難訓練（地震想定）、防災用具使用訓練
5月	15日 17日	災害用通報訓練（家族向け伝言ダイヤル） 防災備蓄を使用した調理実習
6月	24日	避難訓練（火災想定）、消火器・防災用具使用訓練
7月	1日	災害用通報訓練（家族向け伝言ダイヤル）
8月	5日 1・15日	避難訓練（地震想定）、発電機使用訓練 災害用通報訓練（家族向け伝言ダイヤル）
9月	6日 20日	防災備蓄を使用した調理実習 避難訓練（火災想定・バス乗込み訓練）
10月	15日	災害用通報訓練（家族向け伝言ダイヤル）
12月	13日	避難訓練（地震想定・外出時通報訓練） 防災備蓄を使用した調理実習
1月	29日	福祉避難所職員訓練（区福祉課主催地域施設合同）
2月	12日	避難訓練（火災想定）、防災用具使用訓練

(3) 被災時要援護者対策福祉避難所としての整備

要援護者に対する福祉避難所としての環境整備・備蓄を福祉部高齢者福祉課福祉避難所対策担当と連携して、地域関係機関と共に職員研修・検討・準備を進めた。

7 職員配置（令和7年3月31日現在）

	施設長	事務	生活支援員	栄養士
正規職員	1人	1人	6人	
非正規職員			3人	1人
	看護師	合計	総合計	
正規職員		8人	13人	
非正規職員	1人	5人		

※ 生活支援員のうち正規職員1人は、サービス管理責任者

※ 上記のほかに短時間勤務臨時職員あり（生活支援員・調理員）

8 勤務体制

勤務体制は、午前 8 時 3 0 分から午後 5 時 1 5 分までである。

渋谷区立幡ヶ谷授産場の事業報告

I 幡ヶ谷授産場

1 事業運営に関する報告

幡ヶ谷授産場は、社会福祉法に基づき設置された授産施設である。施設の設置主旨に従い、高齢者や低所得者に対して仕事と場所を提供し、安全かつ効率的に作業ができるように指導した。このことを通して、利用者の生活の安定と生きがいを得られるように配慮して運営した。

また、作業に関しては、次のような点に留意した。

- (1) 危険性、有害性、不快感がなく、安全であること
- (2) 作業内容が複雑でなく短時間で習得できること
- (3) 作業内容に含まれている個人情報等の漏洩を防止すること
- (4) 作業が肉体的に過重な負担とならないこと

2 利用定員

◆ 場内作業利用定員 30人

3 利用者の内訳（令和7年3月31日現在）

利用資格	簡易作業		
	場内	居宅	計
60歳以上の者	14人	—	14人
(うち生活保護受給者)	(0人)	—	(0人)
低所得者	1人	—	1人
(うち心身障害者)	(1人)	—	(1人)
計	15人	—	15人

4 作業状況（令和7年3月31日現在）

作業種別	場内			居宅			計		
	在籍人数	延実働人数	年間工賃支払額	在籍人数	延実働人数	年間工賃支払額	在籍人数	延実働人員	年間工賃支払額
簡易作業	15人	187人	10,876,600円	0人	0人	0円	15人	187人	10,876,600円

5 防災体制

消防計画に基づき、渋谷区立幡ヶ谷のぞみ作業所と連携し、総合防災訓練を行った。

6 職員配置（令和7年3月31日現在）

	施設長	事務	職業指導員	合計	総合計
正規職員	1人	1人	2人	4人	7人
非正規職員			3人	3人	

7 勤務体制

職員の勤務時間は、午前8時30分から午後5時15分までである。

8 福利厚生

（1）嘱託医による健康相談

（2）バス旅行によるレクリエーション

10月に実施予定をしていたが中止した。

II 幡ヶ谷のぞみ作業所

1 事業運営に関する報告

幡ヶ谷のぞみ作業所は知的及び身体障がい者を対象とした「障害者総合支援法」に基づく指定障害福祉サービス事業所として、就労継続支援B型事業を行っている。

利用契約をした障がい者の方に、就労機会を提供すると共に、生産活動及びその他の活動の提供を通じて、地域で円滑な社会生活を営むことができるよう支援を行っている。

2 利用定員

20人

3 利用状況

（1）利用者の年齢と性別（令和7年3月31日現在）

	18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	合計	平均
男性	3人	1人	5人	3人	0人	0人	12人	40.7歳
女性	3人	0人	1人	1人	1人	0人	6人	37.2歳
計	6人	1人	6人	4人	1人	0人	18人	39.5歳

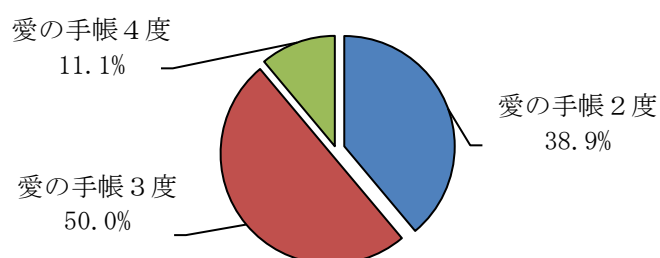
(2) 利用者の障害程度（令和7年3月31日現在）

	愛の手帳			合計
	2度	3度	4度	
男性	5人	6人	1人	12人
女性	2人	3人	1人	6人
計	7人	9人	2人	18人

※ 上記愛の手帳3度所持の男性1人は身体障害2級と重複

※ 上記愛の手帳3度所持の女性1人は身体障害4級と重複

利用者の障害程度



4 作業状況（令和7年3月31日現在）

作業種別	従事人数	延実働人数	年間工賃支払額
簡易作業	18人	216人	1,593,210円
公園清掃	(16人)	(150人)	1,004,336円
自主製品	(18人)	(216人)	722,742円
植木剪定等役務作業	(15人)	(60人)	118,800円
シブヤフォント	(18人)	(216人)	398,351円
草刈り	(16人)	(32人)	53,207円
計	18人	216人	3,890,646円

5 年間行事実施状況

利用者相互の親睦を図ると共に、自主・自立の心を育成してゆくため、以下のとおり年間行事を実施した。

	行 事
4月	療育音楽会・さをり織り
5月	療育音楽会・さをり織り・ボウリング大会
6月	療育音楽会・さをり織り

7月	療育音楽会・さをり織り
8月	さをり織り
9月	療育音楽会・さをり織り
10月	療育音楽会・さをり織り・日帰りバス旅行
11月	療育音楽会・さをり織り・渋谷区障害者連合運動会・食事会 インフルエンザ予防接種（希望者のみ）
12月	療育音楽会・さをり織り
1月	療育音楽会・さをり織り・初詣・新年抱負発表会
2月	療育音楽会・さをり織り
3月	療育音楽会・さをり織り・お疲れ様会（カラオケ大会）

※ さをり織りはボランティアを招いて実施した。

保護者会	年間3回（4、9、2月）
------	--------------

6 防災体制

渋谷区立幡ヶ谷授産場と連携して総合避難訓練を実施した。

7 職員配置（令和7年3月31現在）

	施設長（兼務）	職業指導員	生活支援員	合計	総合計
正規職員	1人	2人	1人	4人	6人
非正規職員		1人	1人	2人	

※ 渋谷区立幡ヶ谷授産場の施設長が、渋谷区立幡ヶ谷のぞみ作業所の施設長を兼務する。

※ 生活支援員のうち1人はサービス管理責任者

8 勤務体制

職員の勤務時間は、午前8時30分から午後5時15分までである。

9 健康管理

年1回の健康診断を実施した。

嘱託医による月1回の健康相談を実施した。

渋谷区立新橋作業所の事業報告

1 事業運営に関する報告

新橋作業所は、渋谷区条例に基づき、障がい者及び高齢者等の福祉の増進に寄与するために設置された作業所である。

障がい者を対象とした「障害者総合支援法」に基づく指定障害福祉サービス事業所として、就労継続支援B型事業を行っている。また、併せて、高齢者等を対象とした物品の受託加工等事業を行っている。

利用契約した障がい者及び利用承認された高齢者等の方に、就労機会の提供等を行うことにより、その自立を助け、生活の安定を図ることを目標に運営した。

また、作業に関しては、次の事柄に配慮した。

- (1) 危険性、有害性等がなく、作業が安全であること
- (2) 加工材料に含まれている個人情報等の漏洩を防止すること
- (3) 障害等の程度に応じて作業の質、量の配分をすること
- (4) 納期までに確実に履行すること

2 利用定員

- ◆ 障がい者（就労継続支援B型事業） 25人
- ◆ 高齢者等 10人

3 利用者状況（令和7年3月31日現在）

(1) 利用者の内訳

利用資格	人数	人数の内訳	
障がい者	19人		
高齢者等	8人	60歳以上の者	7人
		区長が適当と認めた者等	1人
計	27人		

(2) 利用者の年齢と性別

		18～ 29歳	30～ 39歳	40～ 49歳	50～ 59歳	60～ 69歳	70～ 79歳	80歳 ～	合計	平均
障がい者	男性	2人	1人	1人	0人	2人	1人	1人	8人	50.5歳
	女性	0人	2人	4人	3人	1人	0人	1人	11人	49.4歳
	合計	2人	3人	5人	3人	3人	1人	2人	19人	49.8歳
高齢者等	合計	0人	0人	0人	1人	0人	5人	2人	8人	75.1歳

(3) 利用者の障害程度

		身体障害者手帳					合計
		1級	2級	3級	4級	なし	
愛 の 手 帳	2度					1人	1人
	3度	1人				3人	4人
	4度	1人	1人		1人	10人	13人
	なし			1人			1人
合計		2人	1人	1人	1人	14人	19人

4 作業状況（令和7年3月31日現在）

作業種別	在籍人数	延実働人数	年間工賃支払額	B型平均工賃	高齢者等平均工賃
簡易作業	27人	313人	※15,434,831円	37,382円/月	78,417円/月

※ コロナ禍前（令和元年度：15,609,746円）と同水準。令和5年度の約1.6%減。

※ 新型コロナウイルス感染拡大予防のため、作業場所及び昼食場所を分散させることは継続、終業時間についても、保護者等の理解を得て、最長16時または作業終了時とした。

5 防災体制

消防計画に基づき、年2回（6月、2月）の自衛消防訓練（総合訓練）を、コロナ禍前と同様に行った。

また、1月17日に所内で、開所時における緊急災害時の対応について説明した。

※ 3日分の食料及び飲料水を備蓄（全利用者及び全職員分）

6 職員配置（令和7年3月31日現在）

	施設長	事務	職業指導員	生活支援員	合計	総合計
正規職員	1人	1人	1人	1人	4人	10人
非正規職員			3人	3人	6人	

※ 施設長は、職業指導員・生活支援員

※ 正規職員の生活支援員のうち1人はサービス管理責任者

7 勤務体制

職員の勤務時間は、午前8時30分から午後5時15分までである。

8 福利厚生

(1) 嘱託医による健康相談を毎月2回実施した。

(2) レクリエーション行事の実施

◆ バス旅行 令和5年度に引き続き実施した。

実施日：令和6年10月18日（金）

行き先：「原田農園」（リンゴ狩り）と「川場田園プラザ」（道の駅）

交 通：大型観光バス

参加者：31人（障がい者16人、高齢者4人、職員等11人）

◆ その他 近隣商店街でお弁当購入（週2回）、所内で、七夕・お月見（十五夜）・クリスマス会（ケーキと飲み物）・新年食事会（お弁当の配達やデザート等を購入しての飲食）・節分・桃の節句等を実施した。

認定こども園・保育園の事業報告

事業団は、渋谷区の待機児童の解消に寄与すると共に、次世代を育成するという渋谷区の重点施策に応えるため、保育所型認定こども園「神宮前あおぞらこども園」「本町きらきらこども園」「恵比寿のびのびこども園」「本町そよかぜこども園」「原宿こども園」の5園及び認可保育所「西原保育園ゆめ」の1園を運営している。

そして、これらこども園や保育園では、「良質な保育、幼児教育」を保障し、就学前のすべての子どもが「基礎的な生活習慣や社会性、礼儀」を身につけ、学習の基礎となる「好奇心、探究心、思考力や豊かな感性」の涵養を図るべく、入園児すべてに「保育所保育指針」「幼稚園教育要領」「渋谷区就学前教育プログラム」等に基づいた良質な保育・教育を一体的に提供している。

子育て支援事業「ひろば事業」は12年目を迎え、一時保育、子育て広場、体験給食、保育体験、子育てに関する相談などを行った。

現在、保育現場が抱える大きな課題として、保育士の人材を確保して育成すること、保育施設の見える化などがあげられる。これらに対応するため、大学の授業に出向き、事業団の保育について説明し、面接指導も行うなどして大学や学生とのつながりを大切にしてきた。

I C T化については、連絡帳アプリ、事務作業等を効率化する保育管理業務システム及び0歳児クラスのうつぶせ寝に反応するベビーセンサーを活用したほか、インターネットを利用した写真の販売を全園で導入した。

また、事業団の保育人材確保、定着及び離職防止を図るため、平成28年度に開始した宿舍借上げ支援事業については、今年度は48人の職員が利用した。

平成29年度から始めた国内視察は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止とした時期もあったが、令和7年2月、昨年度に引き続き応答的保育に先駆的な取り組みをしている福岡県の保育園を視察した。

「神宮前保育園にじ」は令和5年度末に閉園し、令和6年度から神宮前一丁目に移転し、「原宿こども園」として開園した。一般社団法人次世代S M I L E協会と連携して、スポーツへの取組みを園の特色としている。

1 職員採用

第1次募集	筆記試験	令和6年9月7日
	面接・実技試験	令和6年10月17日～19日
第2次募集	筆記試験	令和6年11月2日
	面接・実技試験	令和6年11月15日～16日
第3次募集	筆記・面接・実技試験	令和7年2月1日

※ 応募者28人、受験者27人、令和7年4月1日付採用者15人（保育士）

2 園児定員

※ 2号・3号認定児は長時間保育利用児、1号認定児は短・中時間保育利用児

（1）神宮前あおぞらこども園

保育種別	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
2号・3号認定児	10人	18人	18人	18人	18人	18人	100人
1号認定児				5人	5人	5人	15人
計	10人	18人	18人	23人	23人	23人	115人

（2）本町きらきらこども園

保育種別	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
2号・3号認定児	10人	18人	20人	20人	20人	20人	108人
1号認定児				4人	5人	6人	15人
計	10人	18人	20人	24人	25人	26人	123人

（3）恵比寿のびのびこども園

保育種別	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
2号・3号認定児	10人	18人	20人	20人	20人	20人	108人
1号認定児				2人	4人	4人	10人
計	10人	18人	20人	22人	24人	24人	118人

（4）本町そよかぜこども園

保育種別	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
2号・3号認定児	10人	18人	20人	20人	20人	20人	108人
1号認定児				3人	5人	5人	13人
計	10人	18人	20人	23人	25人	25人	121人

(5) 原宿こども園

保育種別	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
2号・3号認定児		6人	8人	10人	10人	10人	44人
1号認定児				3人	3人	3人	9人
計		6人	8人	13人	13人	13人	53人

(6) 西原保育園ゆめ (長時間保育のみ)

保育種別	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
2号・3号認定児	10人	16人	20人	20人	20人	20人	106人

3 在籍数の推移

(1) 神宮前あおぞらこども園

保育種別	4月	5月	6月	7月	8月	9月
2号・3号認定児	83人	85人	85人	88人	89人	87人
1号認定児	6人	6人	6人	6人	6人	6人
計	89人	91人	91人	94人	95人	93人

保育種別	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2号・3号認定児	88人	91人	91人	89人	89人	88人	1,053人
1号認定児	6人	6人	6人	6人	6人	6人	72人
計	94人	97人	97人	95人	95人	94人	1,125人

(2) 本町きらきらこども園

保育種別	4月	5月	6月	7月	8月	9月
2号・3号認定児	101人	104人	105人	105人	105人	104人
1号認定児	8人	8人	8人	8人	8人	8人
計	109人	112人	113人	113人	113人	112人

保育種別	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2号・3号認定児	105人	105人	105人	104人	104人	104人	1,251人
1号認定児	8人	8人	8人	8人	8人	8人	96人
計	113人	113人	113人	112人	112人	112人	1,347人

(3) 恵比寿のびのびこども園

保育種別	4月	5月	6月	7月	8月	9月
2号・3号認定児	100人	103人	103人	104人	103人	104人
1号認定児	9人	8人	8人	8人	8人	8人
計	109人	111人	111人	112人	111人	112人

保育種別	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2号・3号認定児	104人	104人	104人	104人	104人	103人	1,240人
1号認定児	8人	8人	8人	8人	8人	8人	97人
計	112人	112人	112人	112人	112人	111人	1,337人

(4) 本町そよかぜこども園

保育種別	4月	5月	6月	7月	8月	9月
2号・3号認定児	106人	107人	108人	108人	107人	108人
1号認定児	10人	10人	10人	10人	10人	10人
計	116人	117人	118人	118人	117人	118人

保育種別	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2号・3号認定児	108人	108人	108人	108人	108人	108人	1,292人
1号認定児	10人	10人	10人	10人	10人	10人	120人
計	118人	118人	118人	118人	118人	118人	1,412人

(5) 原宿こども園

保育種別	4月	5月	6月	7月	8月	9月
2号・3号認定児	29人	30人	29人	30人	29人	30人
1号認定児	2人	2人	2人	2人	2人	2人
計	31人	32人	31人	32人	31人	32人

保育種別	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2号・3号認定児	30人	30人	30人	30人	30人	30人	357人
1号認定児	2人	2人	2人	2人	2人	2人	24人
計	32人	32人	32人	32人	32人	32人	381人

(6) 西原保育園ゆめ

保育種別	4月	5月	6月	7月	8月	9月
2号・3号認定児	104人	104人	104人	104人	104人	104人

保育種別	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2号・3号認定児	104人	104人	104人	104人	104人	104人	1,248人

4 職員配置（令和7年3月31日現在）

施設	職種	園長	事務	看護師	保育士	用務	合計	総合計
あおぞら	正規職員	1人		1人	24人		26人	36人
	非正規職員		1人		8人	1人	10人	
きらきら	正規職員	1人		1人	25人		27人	38人
	非正規職員		1人	1人	8人	1人	11人	
のびのび	正規職員	1人		1人	25人		27人	33人
	非正規職員		1人		4人	1人	6人	
そよかぜ	正規職員	1人		1人	27人		29人	38人
	非正規職員		1人		7人	1人	9人	
原宿	正規職員	1人			12人		13人	23人
	非正規職員		1人	2人	5人	2人	10人	
ゆめ	正規職員	1人		1人	20人		22人	29人
	非正規職員				6人	1人	7人	
計	正規職員	6人		5人	133人		144人	197人
	非正規職員		5人	3人	38人	7人	53人	

※ 園長は、保育士6人

※ 正規職員の保育士のうち育休取得中が6人、休職中が1人

※ 非正規職員の保育士のうち育休取得中が1人

※ 上記のほかに短時間勤務臨時職員あり（事務、保育士）

5 勤務体制

職員は1か月ごとの勤務割表により、週平均40時間勤務する。

職種	勤務	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
看護師 保育士	①							7:25																	
	②							7:45																	
	③							8:00																	
	④							8:30																	
	⑤							9:00																	
	⑥							9:30																	
	⑦							10:00																	
	⑧							11:00																	
	⑨							12:00																	
事務 用務	平常							8:30																	

6 年間行事実施状況

日本の伝統文化の継承や季節に合わせた行事を取り入れ、次のような年間の行事を計

画し実施した。

(1) こども園・保育園の共通年間行事

	行 事 名	ね ら い	内 容
4 月	入園進級お祝い会	・新しい友達を知る。 ・入園、進級を喜び、みんなでお祝いをする。	・クラス、子ども、職員の紹介 ・お楽しみの催しもの（パネルシアター・紙芝居など）
5 月	こどもの日の集会	・こどもの日の由来を知る。 ・友達と一緒に体を動かし、ゲームを楽しむ。	・クラスの製作物紹介 ・体操、ゲームなど
7 月	縁日ごっこ 夏まつり (園児のみ参加)	・親子で縁日ごっこに参加し、地域の人と一緒に楽しく過ごす。	・手づくりおもちゃコーナー ・お店屋さん、レストラン ・盆踊り ・夕方または土曜日に実施
	七夕の集会	・七夕について知り、楽しんで集会に参加する。	・七夕の由来 ・パネルシアター
	プール開き (全園未実施)	・プールでの約束事を知る。 ・プール遊びを友達と楽しむことに期待する。	・演劇鑑賞 ・体操、ゲーム
8 月	すいか割り	・すいか割りをみんなで楽しむ。	・乳児、幼児に分かれてすいか割り
10 月	運動会	・親子で体を動かし、楽しい1日を過ごす。 ・一人ひとりの子どもが力を発揮し、みんなで成長を喜び合う。	・オープニング ・体操、競技、遊戯 ・地域競技
10 月	バス遠足 (3歳～5歳)	・秋の自然の中で園外保育を楽しむ。 ・秋の自然を感じながら芋ほりを楽しむ。 ・他園の友達とバス遠足を楽しむ。	・行き先は昭和記念公園、荒幡農園など ・実施日が雨天の場合は、水族館などに変更
12 月	幼児親子お楽しみ会	・歌や劇ごっこなど、年齢ごとにねらいを持ち表現する。 ・保護者に見守られながら表現遊びを楽しむ。	・発表会 ・職員による出し物 ・園児、保護者、職員みんなで楽しんだ。
	年末こども会	・集会を楽しみ、クリスマスの雰囲気味わう。 ・会食、おやつを異年齢児と過ごすことで交流を楽しむ。	・集会、会食 ・キャンドルサービス ・クリスマスの製作の紹介 ・サンタからお楽しみプレゼント
1 月	新年こども会	・新しい年の始まりを祝う。 ・お正月遊びや伝承遊びを知り楽しむ。 ・もちつきを楽しむ。	・集会、獅子舞 ・十二支の由来 ・年長による書き初め ・お正月遊び
2 月	節分	・節分について知る。 ・豆まきを楽しむ。	・節分の由来 ・ゲーム、豆まき

3月	ひな祭り	・ひな祭りについて知る。 ・お茶会や会食を通じて、異年齢児の交流を楽しむ。	・ひな祭りの由来 ・集会、ゲーム ・お雛様の製作紹介 ・会食、お茶会
	お別れ遠足	・春の訪れを感じ、異年齢の友達と一緒に遊ぶ。 ・みんなで楽しい思い出を作る。	・各クラス年長児との触れ合い遊び ・幼児クラスオリエンテーリング ・行き先は代々木公園などで、雨天の場合は園内に変更
	就学お祝い会	・年長児をみんなで祝う。 ・就学に期待を持つ。	・保護者、地域、来賓、在園児で就学のお祝い ・年長児の保護者体験給食
	お別れ会	・卒園、退園する園児や異動、退職する職員とお別れをする。	・卒園、退園する園児や異動、退職する職員を紹介

※ 上表のほか、敬老の日是在園児から祖父母に敬老カードを送付した。

(2) 小学校との連携について

6園では就学に向けてのオープンスクールに参加したが、新型コロナウイルス感染症の影響のため、従前より縮小して実施した。神宮前あおぞらこども園は神宮前小学校に4回、本町きらきらこども園は渋谷本町学園小学校に5回、恵比寿のびのびこども園は長谷戸小学校に4回、本町そよかぜこども園は渋谷本町学園小学校に5回、原宿こども園は千駄谷小学校に4回、西原保育園ゆめは西原小学校に2回参加した。

<例年実施している主な内容>

テーマ	内 容
学校訪問 (全園実施)	・小学校がどんな場所なのかを実際に見学、探検した。 ・通学路を確認した。
1年生と一緒に学ぶ (全園実施)	・机や椅子の大きさを体験した。 ・音楽、国語、算数、英語、体育、図工などの授業を見学し参加した。 ・図書室で読書をした。
楽しく英語で遊ぼう (全園実施)	・ALT(外国語指導助手)とのコミュニケーションを楽しんだ。
体育館で遊ぼう (実施園あり)	・大きな体育館で、運動遊びをした。
プールで遊ぼう (全園未実施)	・小学校の大きなプールで安全に泳いだ。
体験給食 (全園未実施)	・小学校の給食の形態や食器の違い、給食時間などを体験した。 ・栄養士の話聞いた。
様々な行事に参加する (実施園あり)	・学習発表会、学芸会、作品展、パレードを見学した。
放課後クラブ訪問 (実施園あり)	・放課後クラブを体験した。
園訪問 (全園未実施)	・こども園や保育園に小学生が訪問した。 ・小学校の先生より保護者会で就学に向けての説明を受けた。

(3) 地域、高齢者との交流

神宮前あおぞらこども園は、近隣保育園と交流をしたり、近隣や祖父母の方を園に招待した。地域の協力者により、味噌づくり体験を行った。また、ハロウィンでの交流を行った。

本町きらきらこども園は、地域の清掃活動やお祭りへの参加や、近隣の特養との交流、近隣保育園との交流を行った。また、近隣や祖父母の方を園に招待した。

恵比寿のびのびこども園は、地域の清掃活動やお祭りに参加した。

本町そよかぜこども園は、地域のお祭りへの参加やハロウィンでの交流を行った。近隣保育園との交流も行い、近隣の方を園に招待した。また、地域の防災訓練にも参加した。

原宿こども園は、ハロウィンでの交流を行ったり、近隣保育園との交流も行い、近隣の方を園に招待した。また、園の地域コーディネーターの協力により、ビルの屋上で野菜の種まきや収穫を行ったり、味噌づくり体験を行った。

西原保育園ゆめは、地域の清掃活動や近隣の草むしり、近隣保育園との交流を行った。また、国際協力機構（JICA）と交流をしたり、ひなまつりのお茶会に町会の方を招き、お茶をたててもらった。

（４）こども園・保育園での体育指導、スポーツ指導

ア 株式会社渋谷サービス公社による体育指導

神宮前あおぞらこども園、本町きらきらこども園、恵比寿のびのびこども園、本町そよかぜこども園及び西原保育園ゆめの５園では、次のとおり実施した。

- ・子どもの健康な心と体を育て、自ら健康で安全な生活を作り出す力を養う。
- ・子どもの保育にあたる職員が、安全な体育指導の方法を学ぶ。
- ・毎日、短い時間でも体を動かすプログラムを取り入れ、楽しく参加する。

上記３つを目的に、株式会社渋谷サービス公社の体育指導員に指導を依頼し、全園で毎月１回実施した。

① 実施対象

毎回、４・５歳児、３・４歳児というように複数クラスが行い、計２３１人の園児が参加した。

② 令和６年度のねらい

- ・子どもの運動能力を高める。
- ・体の巧みさが増す幼児期に、専門指導員が指導することにより、運動能力の発達向上を目指し、子ども達の運動欲求を満たす。

月	各月のねらい	内容
4月 5月 6月	・身体づくりをする。 ・1人技をする。 ・マット運動をする。 ・鉄棒をする。	・動物を真似て身体を動かす。 ・片足バランス、V字等を楽しく実施する。 ・でんぐりポーズ、前転体操座り等をする。 ・鼻つけ、けりあげ等をする。
7月 8月	・身体づくりをする。 ・1人技をする。 ・鉄棒をする。 ・跳び箱をする。	・動物を真似て身体を動かす。 ・片足バランス、V字等をする。 ・つばめ、前まわり等をする。 ・グーグージャンプ、グーチーター等をする。
9月	・身体づくりをする。 ・鉄棒をする。 ・跳び箱をする。 ・発表をする。	・動物を真似て身体を動かす。 ・逆上がりを練習する。 ・グーグージャンプ、グーチーター等をする。 ・全員1回ずつ発表する。
10月	・身体づくりをする。 ・跳び箱をする。	・V字バランス、フリッジ等をする。 ・グーグージャンプ、開脚飛び等をする。
11月 12月	・身体づくりをする。 ・鉄棒をする。	・V字バランス、フリッジ、壁倒立等をする。 ・足抜き回り、つばめ等をする。
1月	・身体づくりをする。 ・忍者遊びをする。 ・鉄棒をする。	・壁倒立、手押し等をする。 ・指示行動をする。 ・つばめ、逆上がりの練習等をする。
2月	・身体づくりをする。 ・忍者遊びをする。 ・マット運動をする。 ・ダンスをする。	・V字バランス、フリッジ、壁倒立等をする。 ・指示行動をする。 ・前転、後転をする。 ・音楽発表をする。
3月	・身体づくりをする。 ・忍者遊びをする。 ・鉄棒をする。	・フリッジ、映像を見て真似る、手押し車等をする。 ・指示行動をする。 ・蹴り上げ練習、補助あり逆上がり等をする。

③ 体力測定

株式会社渋谷サービス公社の体育指導員に協力を依頼して、各園の園児4歳児、5歳児を中心に2月、3月に体力測定を行った。その結果を活用し、体育指導では体幹を鍛える運動を取り入れるなどして運動能力の発達向上を目指した。

イ 一般社団法人次世代SMILE協会によるスポーツ指導

原宿こども園の幼児クラスでは、テニス、ラグビー、バレーボール等のスポーツや、ラダー、マット等に取り組むことにより、協会が開発したスポーツ共育プログラムを楽しく体験した。4月から6月までは毎月1回、7月から3月までは毎月3回実施し、毎回、幼児クラスの合同で18人の園児が参加した。

月	実施したスポーツ
4月	カラーボールゲーム遊び、ラダー、テニス
5月	カラーボールゲーム遊び、ラダー、テニス
6月	バランスボール、鉄棒、跳び箱、ラグビー
7月	ラインステップ、ラダー、鉄棒、ラグビー、テニス、マット、野球
8月	スカーフキャッチ、ラダー、バレーボール、鉄棒、マット

9 月	ラインステップ、ラダー、ゴルフ、バレーボール、鉄棒、マット、サッカー、運動会の練習
10 月	ラインステップ、ラダー、鉄棒、テニス、サッカー、跳び箱
11 月	ラダー、鉄棒、跳び箱、ラグビー、サッカー、転がしドッジボール、野球
12 月	ラダー、野球、バランスボール転がし、大縄跳び、鉄棒、バレーボール
1 月	ラダー、跳び箱、バレーボール、野球、大縄跳び、鉄棒、しっぽ取り
2 月	【5歳児保護者参観】ラダー、鉄棒、サッカー、障害物ジャンプ、転がしドッジボール、反復横跳び、テニス
3 月	ラダー、バレーボール、テニス、転がしドッジボール、スカーフキャッチ、野球

① 体力測定

一般社団法人次世代SMILE協会の講師に協力を依頼して、幼児クラスを対象に往復走など4種目の体力測定を行った。その結果、園児の得点は4種目とも全国平均を上回った。

7 ひろば事業

神宮前あおぞらこども園、本町きらきらこども園、恵比寿のびのびこども園、本町そよかぜこども園及び原宿こども園では、一時保育（利用時間は4時間または8時間、1か月に1人10回まで利用可能）及び子育てひろば（体験給食、子育てに関する相談、身体計測など）を行っており、一時保育については、令和5年度よりこれまでの利用方法に加えて、一定の期間、優先して予約ができ利用料も安くなる「定期型一時預かり保育」を開始した。

（1）一時保育の利用

登録者の利用理由は、例年のとおり「リフレッシュ」「子どもが集団生活に慣れるため」「病院受診のため」が上位を占めており、全体の約78%となっている。

0～2歳児の利用が多く、全体の約94%となっている。全体を見ると4時間利用者が約45%、8時間利用者が約55%となっている。

ア 登録者・利用者

施設		0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計	4時間利用	8時間利用
あおぞら	登録者	36人	6人	7人	1人	4人	2人	56人		
	従来型	519人	23人	128人	3人	18人	2人	693人	390人	303人
	定期型	0人	0人	141人	0人	0人	0人	141人	70人	71人
きらきら	登録者	23人	9人	5人	2人	0人	0人	39人		
	従来型	364人	89人	160人	26人	0人	0人	639人	300人	339人
	定期型	0人	23人	117人	0人	0人	0人	140人	0人	140人
のびのび	登録者	58人	14人	9人	3人	1人	0人	85人		
	従来型	133人	84人	66人	7人	0人	0人	290人	125人	165人
	定期型	30人	24人	38人	0人	0人	0人	92人	1人	91人
そよかぜ	登録者	26人	21人	12人	3人	2人	1人	65人		
	従来型	127人	150人	230人	146人	8人	7人	668人	337人	331人
	定期型	0人	8人	108人	24人	0人	0人	140人	0人	140人
原宿	登録者	19人	16人	2人	1人	2人	0人	40人		
	従来型	116人	63人	8人	2人	3人	0人	192人	124人	68人
	定期型	0人	72人	0人	0人	0人	0人	72人	48人	24人
計	登録者	162人	66人	35人	10人	9人	3人	285人		
	従来型	1,259人	409人	592人	184人	29人	9人	2,482人	1,276人	1,206人
	定期型	30人	127人	404人	24人	0人	0人	585人	119人	466人

イ 地域別登録者数

神宮前あおぞらこども園は神宮前地域が一番多く、56人のうち17人を占めており、次が渋谷地域11人と続いている。

本町きらきらこども園は本町地域が一番多く、39人のうち35人を占めており、次が西原地域の2人と続いている。

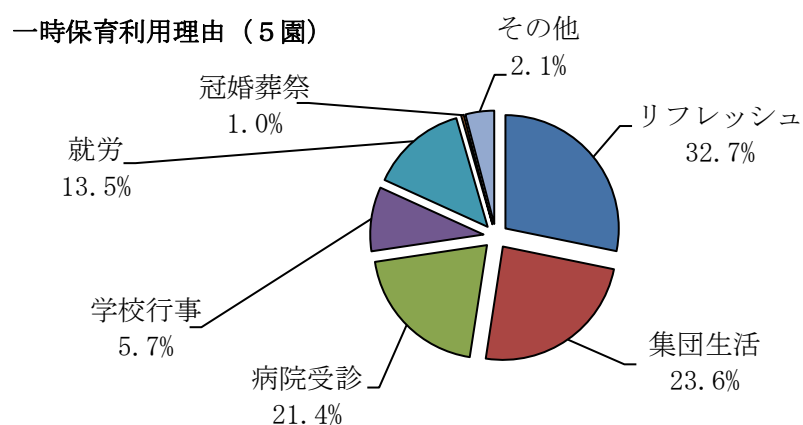
恵比寿のびのびこども園は恵比寿地域が一番多く、85人のうち37人を占めており、次が恵比寿西地域26人と続いている。

本町そよかぜこども園は本町地域が一番多く、65人のうち37人を占めており、次が幡ヶ谷地域12人と続いている。

原宿こども園は千駄ヶ谷地域が一番多く、40人のうち13人を占めており、次が神宮前地域の12人と続いている。

ウ 登録者の利用理由（複数回答あり）

理由 施設	リフレッシュ	子どもが 集団生活 に慣れる ため	病院 受診	学校 行事	就労	冠婚 葬祭	その他	合計
あおぞら	35人	15人	18人	5人	17人	0人	2人	92人
きらきら	27人	24人	19人	5人	10人	2人	4人	91人
のびのび	90人	60人	56人	13人	25人	0人	1人	245人
そよかぜ	36人	36人	30人	7人	19人	2人	3人	133人
原宿	13人	10人	8人	5人	12人	2人	3人	53人
計	201人	145人	131人	35人	83人	6人	13人	614人



（2）ひろばの利用

ア ひろば事業内訳

項目 施設	体験給食	見学会	身体計測	ヨガ、体操 ベビーマッサージ	Eスタート (英語)	自由利用	合計
あおぞら	5人	90人	0人	75人	21人	32人	223人
きらきら	62人	69人	20人	109人	53人	291人	604人
のびのび	50人	134人	2人	149人	86人	178人	599人
そよかぜ	34人	101人	15人	108人	60人	92人	410人
原宿	32人	126人	0人	315人	0人	453人	926人
ゆめ	17人	48人	1人	32人	0人	0人	98人
計	200人	568人	38人	788人	220人	1046人	2,860人

※ 上記項目は、子どものみが参加するもののほか、親子で参加するものもあるが、表記は「人」で統一した。

イ 年齢別登録者

施設	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	妊婦	合計
あおぞら	31人	18人	17人	5人	0人	0人	0人	71人
きらきら	35人	13人	10人	1人	0人	0人	0人	59人
のびのび	26人	28人	13人	3人	0人	0人	0人	70人
そよかぜ	17人	49人	17人	6人	1人	0人	0人	90人
原宿	86人	26人	20人	6人	13人	3人	0人	154人
ゆめ	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
計	195人	134人	77人	21人	14人	3人	0人	444人

※ 見学会、行事（夏祭り・運動会）の参加者は登録者に含めない。

8 病後児保育

原宿こども園内の病後児保育室にじは、こども園が開設した後、令和6年5月8日に開室した。

今年度の開室日数は206日、登録者数は178人（区民は168人）、延べ利用者数は193人（区民は192人）だった。また、登録者のうち利用した人は60人だった。

延べ利用者数における症状については、風邪69人、手足口病35人、骨折21人、胃腸炎18人が上位となった。

9 防災対策・避難訓練実施状況

消防法に基づき消防計画を策定し、防災設備・避難誘導器具等の日常点検の徹底を図った。年間の防災計画に従い避難訓練を毎月1回行うと共に、その計画の中に火災・消火訓練、地震、けがや事故に対応する救急車の要請訓練、不審者訓練、災害訓練、引取り訓練、さらにはJアラート訓練も取り入れて、様々な局面に対応できるよう訓練をつた。また、本町きらきらこども園は冠水の危険性があることから、子ども達が上階に移動する訓練を行った。

	種別	災害想定	実施内容
4月	机上訓練 火災	調理室より出火	- 年間計画と防災職員体制を確認した。 - 避難方法、誘導経路、役割分担を確認した。 - 防災頭巾、靴、避難用品を点検した。
5月	火災	近隣より火災	火災発見者は、慌てず正確に知らせる訓練をした。
6月	地震 火災 不審者	園内 地震火災 安全退避訓練	- 地震発生を想定し、園児の安全を確保し、敏速に避難させた。 - 不審者侵入の際は、できるだけ不安を抱かせないように不審者から遠ざけ、不審者に対応する者は刺激しないようにする訓練をした。

7月	火災	火災 遅番時間帯 事務室	・火災発見者は、慌てず正確に知らせる訓練をした。 ・遅番時間帯の火災に対する基本的な動き方を経験した。
8月	地震 火災	関東地方 中震度発生 火災	・水遊び、プール遊び中の避難方法を訓練した・水着等の子どもの安全を確保した。 ・職員同士、声を掛け合って行動する訓練をした。
9月	地震 火災	関東地方 強震度発生 近隣より火災	・園庭に集まる訓練をした。 ・第一避難場所まで避難する訓練をした。 ・引き渡し訓練を行った。
10月	地震 火災	火災総合訓練 通報訓練 消火訓練	・消防署員の指導・講評を受けた ・災害の怖さを子ども達に教えた。 ・通報、避難、消火など一連の動きを敏速に行う訓練をした。
11月	地震 火災	散歩先にて地震発生	・散歩中に災害が発生し、その場での避難誘導と園への報告を行った。
12月	地震 火災	関東甲信越地方 強震度発生 午睡時	・午睡中の園児の安全を確保し、敏速に避難させる訓練をした。
1月	火災 防災	近隣店舗より出火 早朝保育時 Jアラートに対応	・初期消火及び消火の報告の訓練をした。 ・通報、消火協力の方法を再確認した。 ・窓の近くから離れ建物の中心に避難し、頭や目を守る訓練をした。
2月	火災	不審者侵入 火災	・警察に通報し、安全に避難させる訓練をした。 ・調理室ごみ置き場より出火した場合の避難訓練をした。 ・不審者対応確認とさすまたの使い方の指導を受けた。
3月	地震 火災 机上訓練	関東地方 中震度発生	・予告なしの総合訓練を行った。 ・年間反省を行い、次年度の課題を検討した。

※ しぶや保育メール（緊急メール配信システム）登録者状況

神宮前あおぞらこども園は96.6%、本町きらきらこども園は98.1%、恵比寿のびこども園は91.3%、本町そよかぜこども園は94.4%、原宿こども園は96.7%、西原保育園ゆめは95.2%という登録率となっている。

10 職員研修

（1）新規採用者に対する取り組み

こども未来課の保育アドバイザーらが企画する採用時総合研修では、新人保育士の心得、0歳児保育、記録の書き方、防災等に関すること、また、普通救急救命講習会では蘇生法等を学んだ。

また、総合研修の後、3月には配属予定のこども園や保育園において、数日間の実践的な現場研修を実施した。

さらに、配属3か月後には振り返り研修を実施し、保育実践に関する意見交換や情報共有を行った。

(2) 現職員研修の取り組み

質の高い保育教育サービスを提供するために、職員の質の向上、専門技術の習得など様々な研修に参加した。

なお、例年実施している国内視察は応答的保育に先駆的な取り組みをしている福岡県の保育園を訪れた。

令和7年1月、視察前にオンライン研修を行い、参加者は園での取組みをまとめて発表し合った。また、視察後の3月には参加者によるオンライン報告会を行った。

研修内容	延べ参加人数	研修機関・講師等
区研修 職層及び職場研修 (コーディネーター研修、ミドルリーダー研修、保護者対応危機管理研修、乳児担当担当研修、幼児担当研修等)	85人	渋谷区子ども家庭部保育課
保育の質の向上、乳児期の対話、虐待の基礎知識等	130人	日本保育者支援協会
職層研修、配慮が必要な子どもの関わり方、ハラスメント研修、わらべ歌等	258人	渋谷区社会福祉事業団
キャリアアップ研修	24人	指定研修期間(法人、学校等)

(3) 各園の職場研修の取り組み

各園での職員構成、保育力及び地域性を踏まえて実施した。

ア 神宮前あおぞらこども園

荒馬踊り、応答的保育を考える、保育環境を考える、ドキュメンテーションを考える、水遊びでの安全指導、嘔吐処理、午睡時・誤嚥時の緊急対応

イ 本町きらきらこども園

プール指導と監視、嘔吐処理、心理士による研修、応答的・異年齢保育、人権、保護者対応

ウ 恵比寿のびのびこども園

応答的保育、異年齢保育について、安全な環境について、嘔吐処理、エピペンの使い方

エ 本町そよかぜこども園

応答的保育、異年齢保育、子どもが主体的に遊べる環境、子どもの人権、アトリエスタと学ぶ探求活動(土粘土、音)、嘔吐処理、エピペン、プール活動における事故防止

オ 原宿こども園

散歩マップ作り、環境整備(新園の危険箇所、ヒヤリハット)、スマイルシップスポーツの実践力

カ 西原保育園ゆめ

運動遊び、手作り玩具、チーム力を高める、嘔吐処理、プール・水遊びの管理、
応答的・異年齢保育

キ その他

「虐待の予防チェック表」を作成して全職員で確認を行った。また、「自己評価
チェックリスト」を作成し、各自が年3回チェックをして保育の質の向上を目指し
た。

1 1 その他の取り組み

(1) 第三者評価の実施

ア 本町きらきらこども園

6月20日	事前打ち合わせ（リモート）
8月19日	職員説明会及び保護者アンケート配付
11月 7日	訪問調査 保護者 100人中65人回答（回答率：65%） 職員 25人中25人回答（回答率：100%）
3月31日	評価結果報告
4月以降	ホームページ公開

イ 原宿こども園

6月20日	事前打ち合わせ（リモート）
8月22日	職員説明会及び保護者アンケート配付
2月 4日	訪問調査 保護者 31人中22人回答（回答率：71%） 職員 17人中17人回答（回答率：100%）
3月31日	評価結果報告
4月以降	ホームページ公開予定

(2) 職場体験の実施

小学生、中学生、高校生の体験を次のように受け入れた。

施設	小学生	中学生	高校生	合計
あおぞら	0 人	0 人	0 人	0 人
きらきら	0 人	0 人	0 人	0 人
のびのび	0 人	2 人	0 人	2 人
そよかぜ	0 人	1 人	0 人	1 人
原宿	1 0 人	0 人	0 人	1 0 人
ゆめ	1 人	2 人	1 人	4 人
計	1 1 人	5 人	1 人	1 7 人

(3) 実習生及びインターンシップ受入れ

実習生については、こども教育宝仙大学、東京家政学院大学、東京都市大学、昭和女子大学、帝京短期大学、東京成徳短期大学、東京保育専門学校から計 8 名、日本赤十字看護大学から 3 2 名を受入れた。なお、インターンシップの受入れはなかった。

(4) 夏体験ボランティア受入れ

例年は中学生や高校生、大学生のボランティアを受入れていたが、コロナ禍以降、今年度も引き続き、受入れはなかった。

(5) 苦情対応について

利用者から寄せられた苦情、意見、指摘を真摯に受け止め、ISO10002:2004 に基づいた苦情対応、解決に向けて迅速、誠実、公正に対応を行い、原因を特定し、再発防止策を講じている。

また、各園に「ご意見箱」を玄関に設置し、年度末や保護者会、行事毎にアンケートを実施し、利用者の要望を把握している。各園の苦情については年度毎にホームページで公開している。

(6) 健康教育

全園の幼児クラスでは、毎月の身体計測の際に看護師による健康教育を実施している。手洗いやうがいの指導、栄養の大切さ、自分の体の仕組み、早寝早起きの励行等について、紙芝居や人形などを使い見て分かるように行っている。毎月、年齢ごとに怪我の内容や感染症の流行なども把握しており、事故予防や安全衛生を心掛けている。

地域包括支援センターの事業報告

地域包括支援センターは、地域で暮らす高齢者が住み慣れた地域で、安心してその人らしい生活を継続できるよう、高齢者の生活を支える総合相談窓口である。

事業団は、「あやめの苑・代々木地域包括支援センター」「つばめの里・本町東地域包括支援センター」「笹幡地域包括支援センター」「障害者福祉センターはあとびあ原宿地域包括支援センター」「豊沢・新橋地域包括支援センター」「富ヶ谷・上原地域包括支援センター」「千駄ヶ谷・北参道地域包括支援センター」「恵比寿西二丁目地域包括支援センター」及び「総合ケアコミュニティ・せせらぎ地域包括支援センター」「ひがし健康プラザ地域包括支援センター」「かなみの杜・渋谷地域包括支援センター」の11か所全ての地域包括支援センターを渋谷区から受託運営し、地域包括ケアシステムの推進に向け、課題解決に向けて地域との連携強化を図った。

そのうち、あやめ、笹幡、原宿及び豊沢・新橋の4センターは、認知症地域支援推進員を置く機能強化型支援センターであり、圏域における統括・総合調整の機能を担っている。認知症対策としては、渋谷区と共に、第9期計画「しぶや いきいき あんしんプラン」に策定されている事業「本人ミーティング」・「認知症検診」・「認知症予防プログラム」を継続実施し、新たに認知症専用サイトの開設に向けて事業の最新情報を掲載し、情報発信の強化を行った。

さらに、普及・啓発活動として認知症相談会・認知症サポーター養成講座・フォローアップ研修・認知症フォーラムを実施し、人材の発掘やネットワークの構築に取り組んだ。

また、障がいに関する相談についても、複合化したニーズに対応できるように相談機能の拡充を図った。

災害や感染症などの発生時にも、事業の継続が可能な限り行えるよう、体制・手順などを示すBCP業務継続計画を作成した。

1 事業内容

- (1) 介護予防ケアプラン作成及び介護予防事業の紹介
- (2) 高齢者の介護や保健・福祉サービス利用等の総合相談支援
- (3) 虐待に関する相談等の権利擁護事業
- (4) 包括的・継続的ケアマネジメント支援事業

◆ 地域包括支援センター利用状況（令和7年3月31日現在）

ア 相談件数

施設	4月	5月	6月	7月	8月	9月
豊沢・新橋	861件	981件	842件	930件	893件	786件
恵比寿西	748件	990件	1,064件	976件	958件	945件
ひがし	846件	770件	795件	1,000件	853件	822件
かんなみ	540件	550件	535件	421件	486件	552件
富ヶ谷・上原	728件	745件	680件	883件	637件	588件
せせらぎ	1,014件	989件	876件	1,541件	1,116件	1,043件
あやめ	968件	965件	986件	1,055件	949件	930件
本町	961件	1,100件	1,016件	943件	979件	1,006件
笹幡	1,398件	1,269件	1,172件	1,269件	1,216件	922件
千駄ヶ谷・北参道	704件	724件	720件	810件	756件	631件
原宿	756件	671件	752件	733件	607件	619件

施設	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
豊沢・新橋	892件	906件	986件	875件	927件	875件	10,754件
恵比寿西	976件	949件	949件	930件	923件	948件	11,356件
ひがし	895件	767件	940件	895件	869件	903件	10,355件
かんなみ	558件	515件	473件	413件	431件	404件	5,878件
富ヶ谷・上原	728件	542件	537件	561件	537件	590件	7,756件
せせらぎ	1,139件	1,046件	1,081件	1,022件	1,097件	1,174件	13,138件
あやめ	920件	937件	947件	977件	915件	975件	11,524件
本町	1,089件	1,004件	981件	931件	1,056件	914件	11,980件
笹幡	1,211件	1,059件	1,000件	1,115件	1,037件	1,060件	13,728件
千駄ヶ谷・北参道	821件	788件	658件	695件	687件	586件	8,580件
原宿	771件	628件	544件	617件	559件	632件	7,889件

イ 介護予防事業新規契約件数（総合事業含む）

施設	4月	5月	6月	7月	8月	9月
豊沢・新橋	10件	11件	11件	5件	8件	8件
恵比寿西	4件	5件	11件	20件	8件	8件
ひがし	2件	7件	10件	10件	2件	14件
かんなみ	1件	2件	4件	5件	4件	5件
富ヶ谷・上原	2件	5件	13件	10件	6件	6件
せせらぎ	12件	6件	4件	7件	7件	12件
あやめ	6件	9件	8件	8件	11件	6件
本町	11件	7件	16件	8件	11件	8件
笹幡	16件	8件	10件	10件	10件	10件
千駄ヶ谷・北参道	4件	3件	4件	6件	1件	6件
原宿	2件	3件	3件	6件	3件	6件

施設	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
豊沢・新橋	10件	6件	14件	7件	3件	1件	94件
恵比寿西	14件	7件	7件	9件	7件	5件	105件
ひがし	5件	3件	1件	7件	11件	5件	77件
かんなみ	3件	0件	1件	3件	2件	4件	34件
富ヶ谷・上原	12件	5件	4件	2件	5件	5件	75件
せせらぎ	7件	7件	8件	14件	12件	6件	102件
あやめ	11件	6件	10件	10件	4件	3件	92件
本町	7件	7件	15件	11件	5件	16件	122件
笹幡	17件	4件	12件	8件	5件	14件	124件
千駄ヶ谷・北参道	4件	7件	6件	3件	8件	2件	54件
原宿	5件	3件	5件	2件	7件	4件	49件

ウ ケアプラン作成件数

(ア) 介護予防支援（予防給付）

施設	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
豊沢・新橋	161件	158件	162件	155件	151件	152件
恵比寿西	92件	102件	109件	121件	108件	106件
ひがし	148件	147件	142件	140件	136件	150件
かんなみ	48件	46件	49件	49件	48件	51件
富ヶ谷・上原	92件	93件	98件	94件	98件	97件
せせらぎ	172件	169件	179件	177件	174件	188件
あやめ	105件	109件	116件	117件	117件	114件
本町	169件	177件	174件	171件	187件	180件
笹幡	217件	211件	219件	212件	207件	212件
千駄ヶ谷・北参道	72件	76件	81件	80件	75件	78件
原宿	96件	89件	90件	88件	85件	79件

施設	10月	11月	12月	1 月	2 月	3 月	計
豊沢・新橋	149件	152件	153件	156件	152件	146件	1,847件
恵比寿西	118件	113件	113件	115件	122件	109件	1,328件
ひがし	157件	149件	149件	156件	157件	150件	1,781件
かんなみ	53件	48件	53件	54件	53件	55件	607件
富ヶ谷・上原	94件	97件	97件	92件	84件	85件	1,121件
せせらぎ	192件	185件	187件	186件	178件	189件	2,176件
あやめ	109件	110件	108件	118件	105件	106件	1,334件
本町	177件	176件	178件	181件	183件	184件	2,137件
笹幡	220件	213件	217件	223件	209件	219件	2,579件
千駄ヶ谷・北参道	82件	88件	85件	86件	88件	90件	981件
原宿	83件	84件	85件	83件	84件	85件	1,031件

(イ) 介護予防ケアマネジメント（第1号介護予防支援事業：総合事業）

施設	4月	5月	6月	7月	8月	9月
豊沢・新橋	69件	73件	77件	76件	77件	82件
恵比寿西	72件	63件	70件	74件	76件	73件
ひがし	25件	29件	36件	51件	32件	68件
かななみ	23件	24件	24件	27件	27件	32件
富ヶ谷・上原	64件	56件	63件	60件	57件	58件
せせらぎ	68件	64件	63件	59件	63件	62件
あやめ	78件	75件	75件	76件	63件	65件
本町	75件	83件	81件	82件	85件	79件
笹幡	93件	94件	91件	88件	86件	91件
千駄ヶ谷・北参道	67件	64件	67件	63件	62件	68件
原宿	38件	38件	37件	43件	34件	43件

施設	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
豊沢・新橋	76件	75件	80件	80件	74件	74件	913件
恵比寿西	79件	76件	75件	74件	66件	71件	869件
ひがし	39件	37件	34件	37件	39件	37件	464件
かななみ	27件	29件	29件	25件	21件	22件	310件
富ヶ谷・上原	64件	61件	58件	57件	58件	57件	713件
せせらぎ	58件	60件	60件	65件	68件	66件	756件
あやめ	70件	71件	77件	79件	74件	69件	872件
本町	73件	76件	75件	71件	77件	75件	932件
笹幡	97件	88件	89件	84件	85件	82件	1,068件
千駄ヶ谷・北参道	64件	64件	60件	59件	62件	55件	755件
原宿	42件	44件	42件	42件	43件	39件	485件

2 職員配置（令和7年3月31日現在）

施設	職種	課長	事務	介護支援 専門員	保健師・ 看護師	合計
豊沢・新橋	正規職員			4人	3人	7人
	非正規職員			1人		1人
恵比寿西二丁目	正規職員			4人	1人	5人
	非正規職員					
ひがし	正規職員			4人	1人	5人
	非正規職員			1人		1人
かんなみ	正規職員			3人	1人	4人
	非正規職員					
富ヶ谷・上原	正規職員			3人	1人	4人
	非正規職員					
せせらぎ	正規職員			5人	1人	6人
	非正規職員					
あやめ	正規職員	1人	1人	2人	3人	7人
	非正規職員			1人		1人
本町	正規職員			4人	1人	5人
	非正規職員					
笹幡	正規職員			6人	1人	7人
	非正規職員			1人		1人
千駄ヶ谷・北参道	正規職員			3人	1人	4人
	非正規職員					
原宿	正規職員			5人	1人	6人
	非正規職員					
総合計	正規職員	1人	1人	43人	15人	60人
	非正規職員			4人		4人

※ センター長が課長（介護支援専門員）である施設

あやめ（地域包括ケア担当課長）

※ センター長が介護支援専門員を兼務している施設

豊沢・新橋、恵比寿西二丁目、ひがし、かんなみ、富ヶ谷・上原、せせらぎ、本町、笹幡、千駄ヶ谷・北参道、原宿

※ 上記のほかに短時間勤務臨時職員あり（事務）

3 勤務体制

職員は1か月ごとの勤務割表により、週平均40時間以内の勤務とする。

職種	勤務	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
介護支援専門員 看護師	平常	8:30											17:15						
	遅番A	9:00											17:45						
	遅番B		10:15													19:00			

※ 事務は、8時30分から17時15分までの勤務のみ。

4 職員研修

地域包括支援センターは、介護支援専門員の資格に関わる専門研修等に参加している。高齢者を支援する上で必要な専門的知識をより深めるため、認知症研修、高齢者虐待防止や在宅医療等の研修、権利擁護に関する研修等に参加し、福祉・保健・医療の連携を図るため、自己研鑽に努めた。

なお、延参加人数は229人、延研修日数は121日である。